

Panasonic®



業務用空調かんたん・あんしんサポート

操作マニュアル

はじめに

1-1	アプリの特徴	6
1-2	ユーザーごとのメリット	7
1-3	ユーザー種別ごとの閲覧権限一覧	8
1-4	datanavi活用までの流れ	9

事前準備編

アプリケーションをインストールする

ユーザー登録

2-2-1	ユーザー登録（新規）	12
2-2-2	datanaviへログイン	13
2-2-3	パスワードを忘れたとき	14

接続方法

2-3-1	リモコンとの接続方法	15
2-3-2	Bluetooth対応リモコンの場合 Bluetooth対応リモコン	16
2-3-3	光ID対応リモコンの場合 光ID対応リモコン	19

現場登録編

機器登録

3-1-1	機器登録とは	21
3-1-2	機器登録・試運転データ登録の流れ	22
3-1-3	試運転を行う	23
3-1-4	物件登録	24
3-1-5	機器登録（読み取り） Bluetooth対応リモコン	29
3-1-6	機器登録（読み取り） 光ID対応リモコン	32

試運転データ登録

3-2-1	試運転データの登録・確認 Bluetooth対応リモコン	36
3-2-2	試運転データ登録前の確認 光ID対応リモコン	38
3-2-3	シングル機種データの登録 光ID対応リモコン	39
3-2-4	シングル機種以外のデータ登録 光ID対応リモコン	40
3-2-5	サービス保証2年延長の確認	42

こんなときは

3-3-1	既存物件に機器を追加登録したい	43
3-3-2	物件管理者、物件副管理者、共有ユーザーを変更したい	45
3-3-3	品番を直接入力して機器登録したい	47
3-3-4	登録済の機器を別の物件に移動したい	49

活用編（引渡し後の活用方法）

運転状況の保存・閲覧

4-1-1	運転状況の保存	Bluetooth対応リモコン	52
4-1-2	運転状況の保存	光ID対応リモコン	53
4-1-3	詳細な運転状況の確認	光ID対応リモコン	54
4-1-4	運転状況の履歴の閲覧		55

各種資料の閲覧

4-2-1	資料の閲覧		57
-------	-------	--	----

警報情報の確認

4-3-1	発生中の警報情報の取得	Bluetooth対応リモコン	62
4-3-2	発生中の警報情報の取得	光ID対応リモコン	64
4-3-3	警報情報の履歴の閲覧		65
4-3-4	警報情報の検索		67

フロン排出抑制簡易点検情報

4-4-1	フロン排出抑制簡易点検入力		68
4-4-2	フロン排出抑制簡易点検履歴		69

冷媒漏えい検知サービス

4-5-1	冷媒漏えい検知サービスの申し込み		70
4-5-2	冷媒漏えい検知状況確認		71
4-5-3	冷媒漏えい検知サービスの設定変更		72
4-5-4	冷媒漏えい検知サービス記録の確認		73

省エネモニターの保存・閲覧

4-6-1	消費電力量の保存	Bluetooth対応リモコン	75
4-6-2	消費電力量の保存	光ID対応リモコン	76
4-6-3	消費電力量の履歴の閲覧		78

試運転データ履歴の閲覧

4-7-1	試運転データ履歴の閲覧		79
-------	-------------	--	----

センサー情報の取得

4-8-1	センサー情報	光ID対応リモコン	81
-------	--------	-----------	----

サービス情報の登録・閲覧

4-9-1	サービス情報の登録	84
4-9-2	サービス情報履歴の閲覧・削除	86

ファイル出力

4-10-1	ファイル出力	88
--------	--------	----

QRコード作成・読み取り

4-11-1	QRコードの作成	89
4-11-2	QRコードの読み取り	90

ユーザー情報変更

4-12-1	ユーザー情報の変更	91
4-12-2	パスワードの変更	91

退会手続き

4-13-1	datanaviから退会する時	92
--------	-----------------	----

その他

4-14-1	お知らせ	93
4-14-2	使い方	93

-
- 本マニュアルに記載の画面イメージと文言は、ご利用端末およびアプリのバージョンにより異なる場合があります。
 - 本マニュアルの画面イメージは、iOS端末のイメージを利用しております。Android端末での画面イメージとは異なる場合があります。
 - 本マニュアルは、バージョン00.23.0000以降のアプリに対応しています。
 - iOSは、Apple Inc.のOSの名称です。IOSは、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
 - AppleおよびAppleロゴは、米国その他の国で登録されたApple Inc.の商標です。App Storeは、Apple Inc.のサービスマークです。
 - Android™、Google Play™およびGoogle Play™ロゴは、Google LLCの登録商標です。
 - Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、これらのマークはライセンスに基づき使用されています。
 - QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
 - 他のトレードマークおよび商号は、各所有権者が所有する財産です。

はじめに

アプリの特徴	6
ユーザーごとのメリット	7
ユーザー種別ごとの閲覧権限一覧	8
datanavi活用までの流れ	9

アプリの特徴

業務用空調機器のかんたん・あんしんサポート



スマートフォンで欲しい情報へかんたんにアクセスできます。

datanaviとは？

パナソニックの業務用空調機器の
かんたん・あんしんサポート datanavi

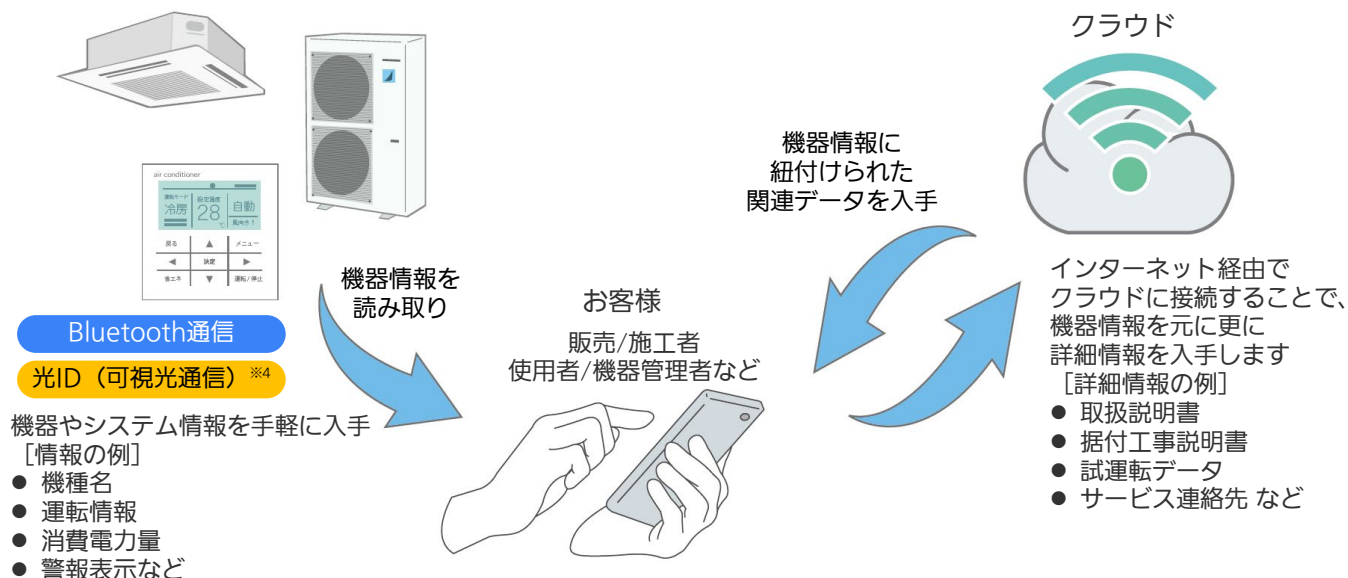
空調機器の運転状況や省エネ機能の使い方、試運転データの自動入手や、施工・サービス時のサポート情報への簡単なアクセスなど利用者から施工/サービス業者まで、さまざまなユーザーに必要な情報の入手を手軽にサポートします。専用回線や専用部材、使用料や手数料は不要※1で、機器のリモコンとお手持ちのスマートフォンを接続（Bluetooth®通信）またはかざす（光ID※2）ことで、かんたん・手軽にさまざまな情報を入手できるサービスです。また、別途冷媒漏えい検知サービス※3をご契約いただくことでフロン排出抑制法に対応した冷媒漏えい検知結果を毎日受け取ることができます。（詳細はP.70「冷媒漏えい検知サービス」をご確認ください）

※1：通信料はお客様のご負担になります。

※2：ご利用可能なスマートフォンの機種は、P.11「対応機種の確認」でご確認ください。

※3：冷媒漏えい検知サービスは有料のサービスとなります。

datanaviの通信イメージ



※4：パナソニックオリジナルの機能です。

ユーザーごとのメリット



オーナー様 機器管理者様

<使用・管理>

フロン排出抑制法の簡易点検※1を
ご自身で行うとき



3か月に一度の
点検タイミングを
メールでお知らせ



アプリで簡易点検
&履歴保存

※1：フロン排出抑制法による点検義務

フロン排出抑制法の簡易点検を冷媒
漏えい検知サービスで代替するとき



毎日の検知結果を
メールでお知らせ



アプリで検知結果
や検知履歴を確認

詳細は『冷媒漏えい検知サービス』（P.70）をご
確認ください。



販売店様

<販売>

情報を確認したいとき



件名管理で
素早い対応



機器情報が
わかる



施工業者様

<メンテナンス・サービス>

故障対応を行うとき



機器情報・試運転
データ履歴がすぐ
わかる



警報表示と故障情
報がすぐわかる

<施工>

省施工で簡単・確実に



試運転データを
自動入手



Q&A集や
取扱説明書を
簡単に閲覧可能

①ユーザー登録、②機器登録、③試運転データ登録するだけで…

メーカーサービス保証2年延長 (1年の保証+2年の延長でトータル3年)

保証期間中は、保証書の規定に
従って、出張修理いたします。

【メーカー保証延長の条件】

2017年10月以降に新発売のオフィス・店舗用エアコン※2を購入
いただき、datanavi※3のユーザー登録・機器登録・試運転デー
タ登録を頂いたご利用者

※2：オフィス・店舗用エアコンの従来品並びに、ビル用マルチエ
アコン（miniマルチ含む）は、保証延長の対象外です。

※3：datanaviのご利用には、多機能ワイヤードリモコン（CZ-
10RT4C、CZ-10RT5）が必要となります。

【保証期間中の有償修理条件】

・保証書に記載している項目と同じです。

【メーカーサービス保証の開始日】

・保証書の発行日から（ユニットを設置いただいた日）

【延長保証の除外条件】

・24時間営業店舗、24時間以上の連続運転を想定した施設
（サーバー室など）

（適用商品）

- ・2017年10月発売以降のオフィス・店舗用エアコン下記機種
本体に接続・取り付ける天井パネル・多機能ワイヤードリ
モコン（CZ-10RT4C、CZ-10RT5）および、床置形本体内
蔵コントロールスイッチ

（適用除外商品）

- ・ビル用マルチエアコン 室内機/室外機全種
- ・設備用パッケージエアコン 室内機/室外機全種
- ・別売品（集中制御機器、加湿器、フィルターなど）

（ご注意）

- ・床置ダクト形/床置プレナム形の場合や、
ワイヤレスリモコンをご使用の場合に
は多機能ワイヤードリモコン（CZ-
10RT4C、CZ-10RT5）のご利用が必
要となります。

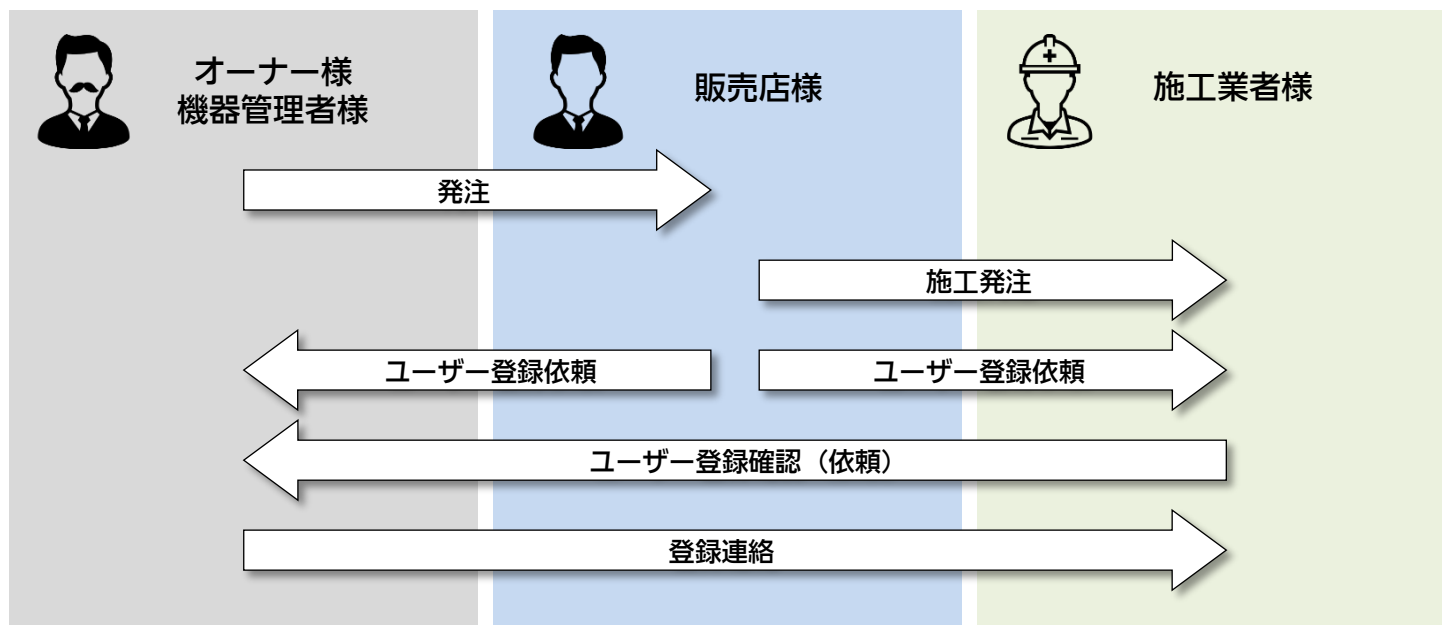
ユーザー種別ごとの閲覧権限一覧

青色はBluetooth対応リモコン、橙色は光ID対応リモコンが対象のページを示しています。

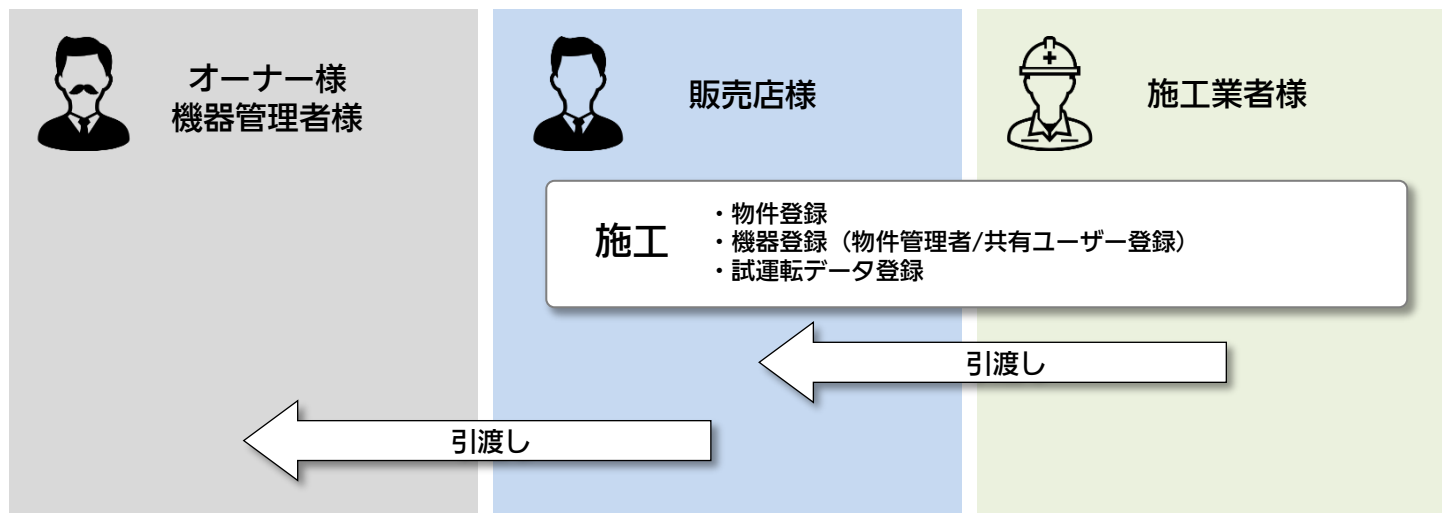
項目	内容やシチュエーション	ページ	ユーザー種別ごとの権限						
			パナソニック 営業	パナソニック サービス	販売店・ 代理店	施工者	メンテナンス 会社	オーナー・ 管理者	その他 (使用者)
インストール	手持ちのスマートフォンでdatanaviを利用する	11	○	○	○	○	○	○	○
ユーザー新規登録	datanaviを利用するユーザーの登録を行う	12	○	○	○	○	○	○	○
ログイン	datanaviにログインする	13	○	○	○	○	○	○	○
パスワード忘れ	パスワードを忘れ、ログインできない	14	○	○	○	○	○	○	○
機器登録	機器情報や設置場所などの物件情報を登録する	21	○	○	○	○	○	○	—
試運転データ登録	試運転データを登録する [Bluetooth対応リモコン]	36							
	シングル機種の試運転データを登録する [光ID対応リモコン]	39	○	○	○	○	○	○	—
	シングル機種以外の試運転データを登録する [光ID対応リモコン]	40							
運転状況	運転モード、設定温度、風速など現在の情報を確認する	52 53							
	親室内機の運転状況を確認する	54 55	○	○	○	○	○	○	○
	以前に保存した運転状況を確認する	55							
各種資料	取扱説明書、据付工事説明書などの資料を閲覧する	57	○	○	○	○	○	○	○
	機器を検索して、その機器の資料を閲覧する	57							
警報情報	警報コードやその内容・対処方法などを確認する	62 64							
	過去の警報履歴を確認する	65	○	○	○	○	○	○	○
	警報コードを直接入力する	67							
フロン排出抑制簡易点検情報	フロン排出抑制簡易点検を行う	68	○	○	○	○	○	○	—
	フロン排出抑制簡易点検履歴を確認する	69							
冷媒漏えい検知サービスの利用	冷媒漏えい検知サービスに申し込む	70							
	冷媒漏えい検知状況、冷媒漏えい異常を確認する	71	○	○	○	○	○	○	—
	冷媒漏えい検知サービスの設定を確認、変更する	72							
	冷媒漏えい検知サービスの記録を確認する	73							
省エネモニター	現在の消費電力量を確認する	75 76	○	○	○	○	○	○	○
	以前に確認・保存した消費電力量の履歴を確認する	78							
試運転データ履歴の閲覧	以前に確認・保存した試運転データを確認する	79	○	○	○	○	○	○	—
センサー情報	空調機の各センサーデータを確認する	81	○	○	○	○	○	○	○
サービス情報	補修や修理などのサービス対応時の情報を登録する	84	○	○	○	○	○	○	—
	以前に保存したサービス情報の履歴を確認する	86							
ファイル出力	データをパソコンに保存する	88	○	○	○	○	○	○	○
QRコード作成・読み取り	機器データに紐づくQRコードを作成する	89	○	○	○	○	○	○	—
	QRコードの読み取りによる機器データを表示する	90							○
ユーザー情報変更	ログイン情報などのユーザー情報を変更する	91	○	○	○	○	○	○	○
	ログインパスワードを変更する	91							
退会手続き	datanaviを退会し、ユーザー登録を削除する	92	○	○	○	○	○	○	○
お知らせ・使い方	datanaviに関する情報やマニュアル等を閲覧する	92	○	○	○	○	○	○	○

datanavi活用までの流れ

1 事前準備



2 現場登録



3 保証書および3年保証登録メールをお渡し確認後、活用開始

販売店様へのお願い

- 施工までに販売店様より、施工業者様へのユーザー登録依頼をお願いします。可能であれば、オーナー様/機器管理者様へのユーザー登録依頼をお願いします。

施工業者様へのお願い

- 施工までに施工業者様より、オーナー様/機器管理者様へのユーザー登録依頼をお願いします。
- 物件登録の際、情報を共有するユーザー登録が必要です。（オーナー様/機器管理者様のログインID（メールアドレス）を物件情報に登録する作業です）
- 施工完了後、オーナー様への引渡しの際に保証書及び3年保証登録メールをセットでお渡しください。

<ご注意>

ドメイン指定受信、メール指定受信などの設定をされている方は、「datanavi-support@gg.jp.panasonic.com」からのメールを受信できるよう、設定変更していただかないと、3年保証対象をお知らせするメールが受信できませんのでご注意ください。

事前準備編

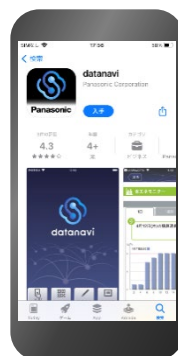
アプリケーションをインストールする	11
ユーザー登録	12
接続方法	15

- 現場に行くことなく、事前の実施で効率アップが可能です。
- datanaviサービスをご利用いただく予定の全ての方のご登録が必要です。
- サービスご利用者お一人様につき1アカウントのユーザー登録が必要です。

アプリケーションをインストールする

■ iOS端末へのインストール

1 以下のQRコードをスマートフォンで読み取ってインストールする



- AppStoreから「datanavi」と検索してインストールすることもできます。

■ Android端末へのインストール

1 以下のQRコードをスマートフォンで読み取ってインストールする



- Google Playから「datanavi」と検索してインストールすることもできます。

■ 光ID対応機種の確認

お手持ちのスマートフォンが光ID（可視光通信）に対応している機種かどうかを、以下のQRコードまたはWebページから確認することができます。



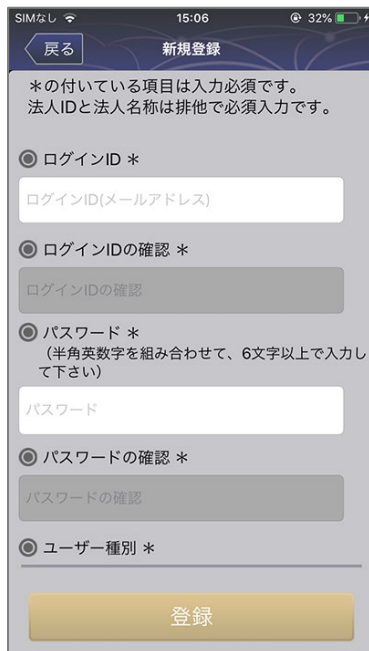
- 記載のない機種は、動作の保証ができません。あらかじめご了承ください。
- Webページは以下のURLになります。
<https://datanavi.ac.smartcloud.panasonic.com/asset/target.pdf>

ユーザー登録

2-2-1 ユーザー登録（新規）

datanavi をご利用いただくにあたり、ユーザー情報を新規登録します。

1 アプリの「新規登録」を選び、必要な情報を入力する

●入力項目（*は入力が必要な項目です）

ログインID（メールアドレス）*

- ・ログイン時に必要になります

パスワード*

ユーザー種別*

- ・ユーザー種別は選択肢の中からスクロールして選びます。

法人ID*

- ・既に法人IDが作成されている場合は法人IDを入力ください。法人ID未作成の場合は法人ID新規作成を選び、法人名称、法人電話番号、法人住所を入力ください。

- ・ユーザー種別が「オーナー・管理者」と「その他(使用者)」の場合、入力は必須ではありません。

法人名称*

- ・ユーザー種別が「オーナー・管理者」と「その他(使用者)」の場合、入力は必須ではありません

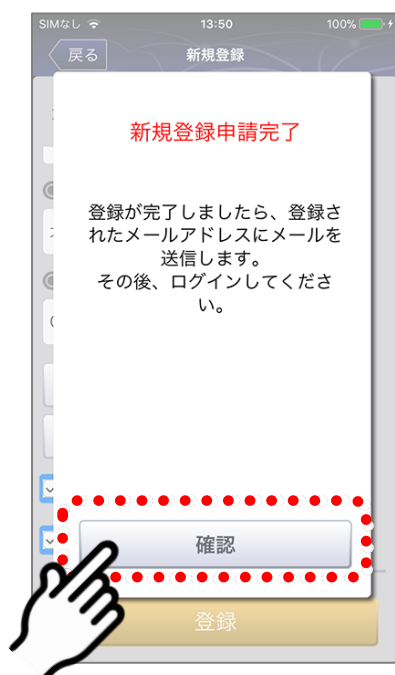
法人電話番号

法人住所

氏名（姓・名）*

住所、電話番号

2 「確認」を選ぶ



「確認」を選ぶと、ログインID（メールアドレス）に認証用URLが記載されたメールが届きます。24時間以内に認証用URLをクリックするとユーザー登録が完了になります。

- ドメイン指定受信、メール指定受信などの設定をされている方は、「datanavi-support@gg.jp.panasonic.com」からのメールを受信できるよう、設定変更していただく必要があります。

ユーザー登録

2-2-2 datanaviへログイン

ユーザー登録が完了したら、datanaviアプリにログインします。

1 登録したログインID（メールアドレス）とパスワードを入力する



2 「ログイン」を選び、ログインする



ユーザー登録

2-2-3 パスワードを忘れたとき

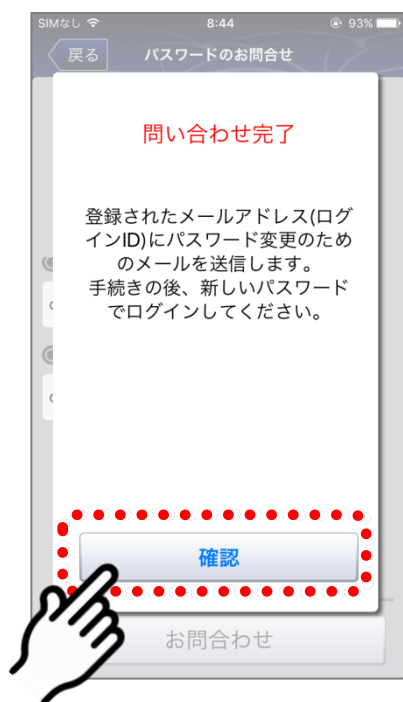
パスワードを忘れたときは、ログインIDのメールアドレスを入力して、パスワードを問い合わせることができます。

1 「ログインID、またはパスワードを忘れた方はこちらから」から、メールアドレスを入力し、「お問い合わせ」を選ぶ



事前準備編

2 「問い合わせ完了」画面が表示されたら「確認」を選ぶ



「確認」を選ぶと、ログインIDのメールアドレス宛てに、臨時パスワード（8桁）が送信されます。臨時パスワードの有効期間は24時間です。24時間を経過すると無効になりますので、メールが届いてから24時間以内にログインしてください。

- 臨時パスワードでログイン後、『ユーザー情報変更』（P.91）に沿って、任意のパスワードに変更してください
- ドメイン指定受信、メール指定受信などの設定をされている方は、「datanavi-support@gg.jp.panasonic.com」からのメールを受信できるよう、設定変更していただく必要があります。

接続方法

2-3-1リモコンとの接続方法

Bluetooth通信または光ID（可視光通信）を使ってリモコンに接続し、機器情報を読み取ります。

- お使いのリモコンによって読み取り方法が異なります。

Bluetooth対応リモコンをお使いの方



お使いのスマートフォンとリモコンとでBluetoothで通信し、機器情報を読み取ります。詳しい接続方法については『Bluetooth対応リモコンの場合』（P.16）をご確認ください。

対象機種：

Bluetooth対応機種（CZ-10RT5）

光ID対応リモコンをお使いの方



お使いのスマートフォンのカメラを使い、光ID（パナソニックのオリジナル機能）通信で機器情報を読み取ります。詳しい接続方法については『光ID対応リモコンの場合』（P.19）をご確認ください。

対象機種：

光ID対応機種（CZ-10RT4C）

接続方法

2-3-2 Bluetooth対応リモコンの場合

Bluetooth対応リモコン

Bluetooth通信を使ってリモコンから機器情報を読み取ることができます。

1 リモコン（CZ-10RT5）のBluetooth機能を有効にする

- ・詳しい操作はリモコンに付属の取扱説明書をご確認ください。

2 リモコンの待ち受け画面を表示する



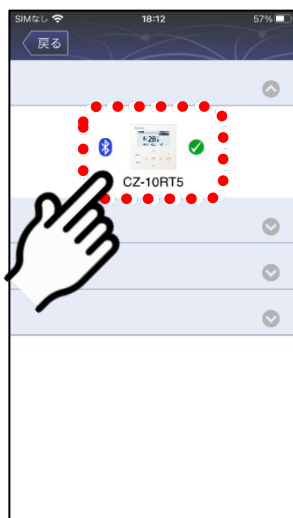
3 お使いのスマートフォンの設定画面からBluetooth機能を有効にする






4 datanaviアプリから接続するリモコンを選ぶ



「Bluetooth読み取り」
を選ぶ



表示されたリモコンを選ぶ

- 過去にペアリングしたことがあるリモコンには「」が表示されます。
- 一番最後に接続したリモコンには「」が表示されます。
- リモコンが表示されない場合は、画面を下にスワイプさせると情報が更新され、リモコンが表示される場合があります。
- 過去に接続済みでも、Bluetoothの通信範囲外になった場合、リモコンが「」のようにグレーに表示されます。

2-3-2 Bluetooth対応リモコンの場合 (つづき)

Bluetooth対応リモコン

5 リモコンに表示される6桁のコードを確認し、「ペアリング」を選ぶ



アプリに表示される6桁のコードが、リモコンに表示されるコードと同じか確認し、リモコンの[決定]を押す

- リモコンのコードが違う場合は、違うリモコンを選択しています。
- 初めてペアリングするときのみこの手順が必要です。(すでにペアリング済みの場合はこの手順は不要です)

「ペアリング」を選ぶ

- ペアリングが完了するとメニュー画面を表示します。
- 室内機の台数によって、ペアリングが完了するまでに最大1分かかる場合があります。

6 メニューから操作したい項目を選ぶ



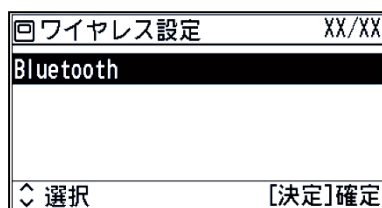
■ ペアリングができないとき

～ ペアリング時に6桁のコードが表示されず、ペアリングできない場合 ～

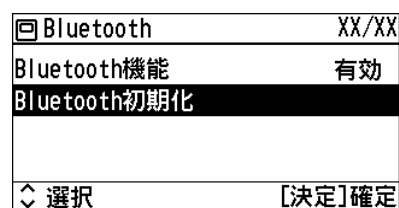
1 リモコンのメニューから「Bluetooth初期化」を行う (以下はCZ-10RT5の例)



リモコンの[メニュー]を押す



「リモコン設定」>「ワイヤレス設定」>「Bluetooth」を選び、[決定]を押す

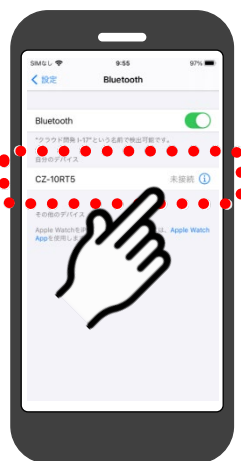


「Bluetooth初期化」を選び、[決定]を押す

2 スマートフォンのメニューからペアリング情報を削除する



設定アプリから「Bluetooth」を選ぶ



接続するリモコンを選び、登録を削除する

3 P.16～17の手順に従って、接続する空調機の機器登録の読み取りを行う

～ 「Connection Failed.」と表示された、もしくはリモコンがグレー表示になった場合 ～

1 datanaviアプリを終了させて、再度起動させる

接続方法

2-3-3 光ID対応リモコンの場合

光ID対応リモコン

光ID（可視光通信）を使ってリモコンから機器情報を読み取ることができます。

1 「光ID読み取り」を選ぶ





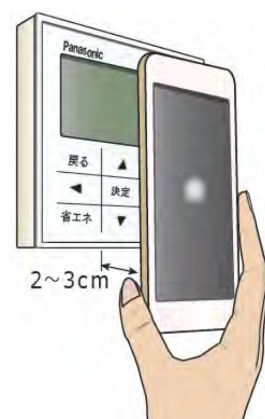
2 リモコン画面にスマホをかざす



- 「光にかざしてください」が表示されてから、リモコン画面にかざします。
- 「画面を選択してください」が表示される場合は、リモコン画面にかざしてからスマホの画面を選択してください。

リモコン画面を読み取る際は以下の点にご注意ください

- リモコンに対してスマホを水平に向ける
- スマホのカメラをリモコン画面の中心に合わせる（一部の機種については、フロントカメラを使用してください。詳しくは、対応機種をご確認ください）
- カメラとリモコン画面の距離は2～3cm程度にする（ピントを合わせる必要はありません）
- リモコン画面に、 アイコンが表示されていることを確認してください。（リモコン画面に が表示されているときに読み取りができます）
- リモコン画面が消灯していると、情報を読み取ることができません。（リモコンのいずれかのボタンを押してリモコン画面を点灯させてください）



現場登録編

機器登録	21
試運転データ登録	36
こんなときは	43

- 実際に空調機を設置している現場での登録作業です。
- 施工者様にて試運転を実施されるタイミングでの登録をお勧めいたします。
- 納入物件の全ての対象機器の登録が必要です。

機器登録

3-1-1 機器登録とは

datanavi を使用することで機器構成などの**機器情報**が取得できます。
機器情報と合わせて設置場所や機器管理者などの**物件情報**をdatanavi上で入力することで、機器情報と物件情報を合わせてdatanavi上で管理できるようになります。



機器情報をdatanaviで読み取り

機器構成（品番）や警報履歴、消費電力量、試運転データなどを読み取ります。



物件情報をdatanavi上で入力

管理者氏名：松下 太郎
管理者住所：大阪府門真市…
管理者連絡先：06-XXXX-YYYY
施設名称：〇〇ビル
施設住所：大阪府門真市…
設置場所写真：



など

機器登録

3-1-2 機器登録・試運転データ登録の流れ

datanavi を活用いただく前に、『物件登録』『機器登録』『試運転データ登録』の3点を行っていただく必要があります。現場登録編では、以下の流れに沿って、それぞれデータを登録してください。

・試運転中に「物件登録」と「機器登録」をすることで、効率的に登録を行うことができます。

試運転を開始（P.23）

試運転中に以下を行います

- datanaviアプリで行う手順
- 空調機・リモコンで行う手順

①物件登録

管理者情報などの物件情報を登録する（P.24）

②機器登録

Bluetooth通信（または光ID）を使って機器登録を行う

Bluetooth対応リモコン：P.29

光ID対応リモコン：P.32

試運転 状況確認

試運転開始から15分以上経過後、以下を確認する

- 冷風（冷房時）または温風（暖房時）が吹き出している
- 警報が発生していない

③試運転 データ登録

Bluetooth通信（または光ID）を使って試運転データを登録を行う

Bluetooth対応リモコン：P.36

光ID対応リモコン：P.38～

④試運転 登録確認

datanaviの画面上に、試運転データ登録が完了していることを確認する

試運転終了

機器登録

3-1-3 試運転を行う

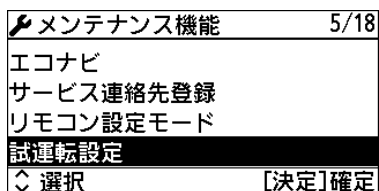
『物件登録』『機器登録』『試運転データ登録』を効率的に行うために、まず試運転モードに設定します。

1 「据付工事説明書」に沿って、試運転を開始する (CZ-10RT5の場合)

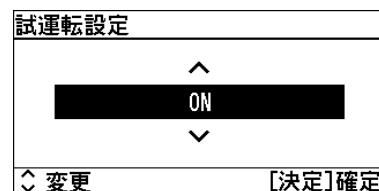


メンテナンス機能画面を表示する

- 詳しくは、リモコンの据付（電気）工事説明書をご確認ください。



「試運転設定」を選び、[決定]を押す



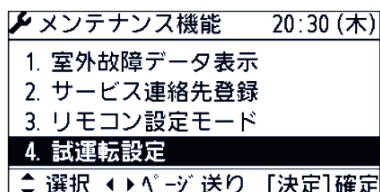
「ON」を選び、[決定]を押す

(CZ-10RT4Cの場合)

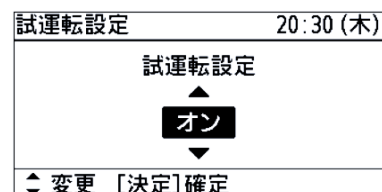


メンテナンス機能画面を表示する

- 詳しくは、リモコンの据付（電気）工事説明書をご確認ください。



「試運転設定」を選び、[決定]を押す



「オン」を選び、[決定]を押す

機器登録

3-1-4 物件登録

設置場所や機器管理者などの物件情報をdatanavi上で入力します。

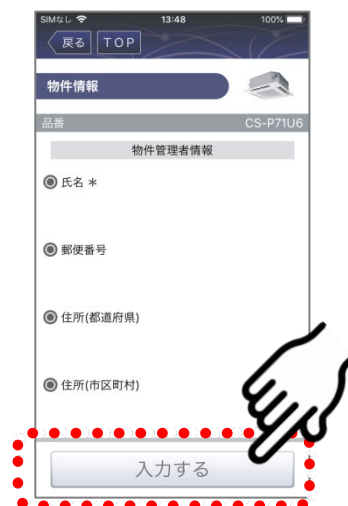
1 「物件情報」から「+」を選び、新規物件を作成する



「物件情報」を選ぶ



「+」を選ぶ



「入力する」を選ぶ

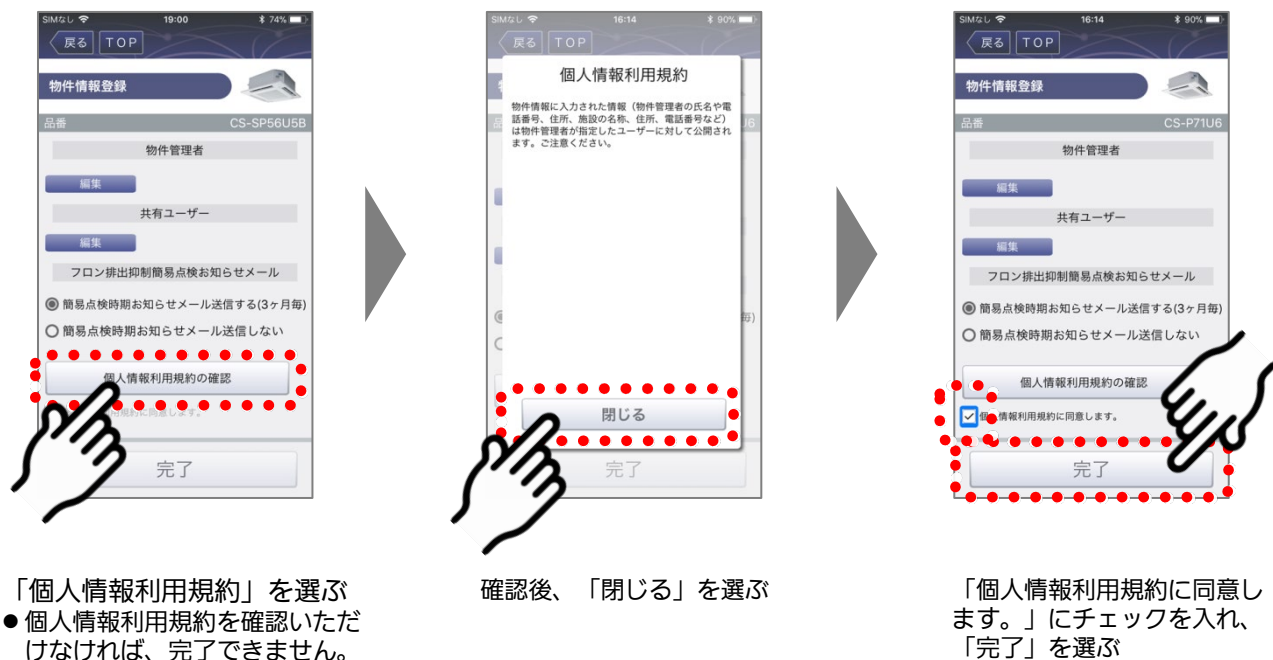
2 必要な物件管理者情報を入力する



必要な情報を入力する

- 郵便番号を入力し「住所変換」を選ぶと、都道府県と市区町村が自動入力されます。
- 入力項目は『物件情報入力項目』(P.26)を参照してください。

3 個人情報利用規約を確認する



4 物件情報を登録し、保存する



■ 物件情報入力項目（*は入力が必要な項目です）

物件管理者情報	
氏名（名称）*	物件を管理される方またはオーナー様の氏名を入力してください。
郵便番号	物件を管理される方またはオーナー様の連絡先郵便番号を入力してください。
住所	物件を管理される方またはオーナー様の連絡先住所（都道府県、市区町村、番地、その他）を入力してください。
電話番号	物件を管理される方またはオーナー様の連絡先電話番号を入力してください。
機器設置情報（P.30/P.34）	
施設名称*	空調機を設置した施設の名称を入力してください。 （datanaviで物件情報を参照する時の見出しとして使用するため、複数の物件を管理される場合は、物件の識別が可能な名称をつけることを推奨します）
施設郵便番号*	空調機を設置した施設の郵便番号を入力してください。
施設住所*	空調機を設置した施設の住所（都道府県、市区町村、番地、その他）を入力してください。
施設電話番号	空調機を設置した施設の電話番号を入力してください。
サービス連絡先法人名称	空調機の販売店や代理店、サービス店の名称を入力してください。（空調機が故障した時の連絡先として使用します）
サービス連絡先法人電話番号	空調機の販売店や代理店、サービス店の連絡先電話番号を入力してください。（空調機が故障した時の連絡先情報として使用します）
設置日*	空調機を設置された年月日をご入力ください。 （設置日を起算日として、簡易点検お知らせメールが送信されます）
設置場所写真	最大10枚まで登録可能で、1枚目は物件情報のサムネイルとして表示されます。（空調機の設置場所や設置環境などがわかるような写真を登録すると、点検や修理の際などに役立てることが出来ます）

- 物件を変更する場合は、『物件管理者、物件副管理者、共有ユーザーを変更したい』（P.45）をご確認ください。
- 機器設置情報の入力、『機器登録（読み取り）』（P.30/P.34）をご確認ください。

■ 物件情報入力項目（つづき）

物件管理者 「物件管理者編集」	
物件管理者 ログインID（メールアドレス）	物件管理者のログインID（メールアドレス）を入力してください。（簡易点検お知らせメール、冷媒漏えい検知サービスの通知メールの送信対象となります）
物件副管理者 ログインID（メールアドレス）	物件を管理される方またはオーナー様の連絡先郵便番号を入力してください。（簡易点検お知らせメール、冷媒漏えい検知サービスの通知メールの送信対象となります） ・物件副管理者は10名まで登録可能です。 ・冷媒漏えい検知サービス契約時はパナソニック産機システムズ株式会社の担当者が物件副管理者として追加されます。（詳細は『冷媒漏えい検知サービス』（P.70）をご確認ください）
権限	閲覧・編集権限を選択した場合、物件副管理者は物件情報を閲覧・編集することができます。 閲覧を選択した場合、物件副管理者は物件情報を閲覧のみすることができます。
共有ユーザー 「共有ユーザー編集」	
共有ユーザー ログインID（メールアドレス）	物件情報/機器情報を共有するユーザーのログインID（メールアドレス）を入力してください。

- 物件管理者・共有ユーザーができることは下記の表でご確認ください。
- 簡易点検お知らせメール、冷媒漏えい検知サービスの通知メールを受信するためには、ドメイン指定受信、メール指定受信などの設定をされている場合、「datanavi-support@gg.jp.panasonic.com」からのメールを受信できるよう、設定変更していただく必要があります。
- 物件管理者や共有ユーザーの関係図、物件情報共有のイメージは、『物件情報共有のイメージ図』（P.28）を参照ください。
- 物件管理者様のログインIDを登録いただかないまま試運転データ登録を行った場合、「3年保証登録メール」は物件管理者様には届きません。その場合は必ず物件管理者様のログインIDを登録するとともに、「3年保証登録メール」を管理者様にお渡しください。

■ 各ユーザー権限でできること

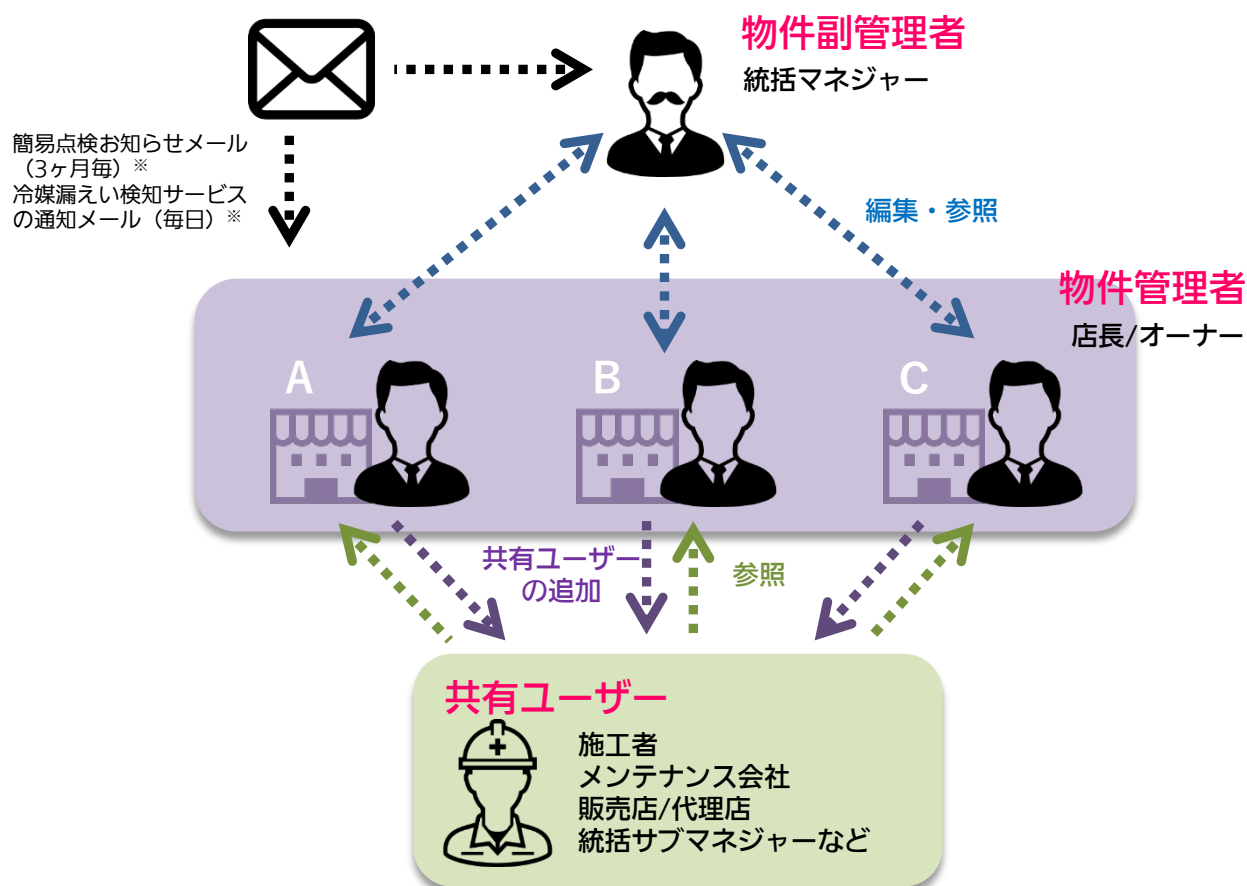
○：可 ×：不可

	物件情報の 編集	物件情報の 参照	物件に紐づく 機器情報の参照※1	共有ユーザーの 追加
物件管理者	○	○	○	○
物件副管理者 （閲覧・編集権限）	○	○	○	×
物件副管理者 （閲覧権限）	×	○	○	×
共有ユーザー	×	○	○	×
その他のユーザー	×	×	×	×

※1：参照できる機器情報の内容は、ユーザー種別ごとに異なります

■ 物件情報共有のイメージ図

（例：スーパーなどのチェーン店）



※：簡易点検お知らせメール、冷媒漏えい検知サービスの通知メールは、物件管理者様と物件副管理者様に送信されます。

物件管理者

空調機の管理責任者、またはオーナー様をご登録ください。

物件副管理者

物件管理者の代理の方をご登録ください。（ただし、閲覧権限の物件副管理者は物件情報を編集することはできません）

共有ユーザー

物件管理者、物件副管理者とは別に、機器情報・物件情報を共有したい方をご登録ください。（ただし、物件情報を編集することはできません）

- ・ 共有ユーザーは、物件管理者のみ設定できます。

機器登録

3-1-5 機器登録（読み取り）

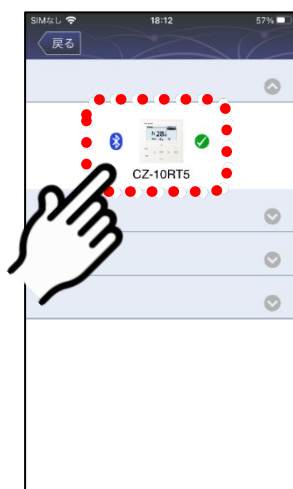
Bluetooth対応リモコン

1 datanaviアプリから登録するリモコンを選ぶ



「Bluetooth読み取り」を選ぶ

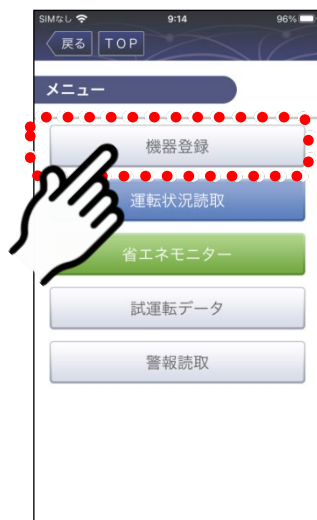
- 事前にスマートフォンのBluetooth機能をオンに設定してください。



表示されたリモコンを選ぶ

- ペ어링方法について詳しくは『Bluetooth対応リモコンの場合』（P.16）をご確認ください。

2 「機器登録」を選ぶ



「機器登録」を選ぶ



3 機器設置情報を入力する

- 機器設置情報の詳細については、「物件情報入力項目」（P.26）をご確認ください。

各ユニットの機器名称、製造番号を入力する（任意）

- 機器名称は、設置場所や位置がわかるような名称を入力します。製造番号は、各ユニットに貼付されているラベルに記載の番号を入力します。

サービス連絡先の法人名称と電話番号、設置日、備考を入力する

- 「物件情報を反映」を選ぶと物件情報と同じ値が反映されます。
- 「機器ごとに簡単点検時期お知らせメールを送信する（3ヶ月毎）」をチェックすると入力した設置日を基準として、機器ごとにお知らせメールが送信されます。
- 「備考」には個人情報は入力しないでください。

5 入力した機器情報を保存し完了する

「機器登録完了」を選ぶ

「物件登録」を選ぶ

- 機器登録は完了です。つづけて、物件登録を行ってください。（P.24）

5 「既存物件情報に追加」から登録する物件を選ぶ

・機器情報と物件情報の紐づけを行わないと、情報がクラウド上に登録・保存されません。



「既存物件情報に追加」を選ぶ

物件選択のリストから物件を選ぶ

- 「新規物件」は『物件登録』（P.24）をご確認ください。

6 物件を追加・保存する



「はい」を選ぶ

「確認」を選ぶ

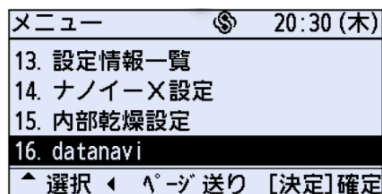
●トップ画面に戻ります。

機器登録

3-1-6 機器登録（読み取り）

光ID対応リモコン

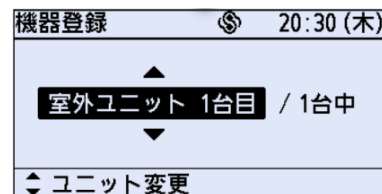
1 リモコンのメニューから「datanavi」＞「機器登録」で室外ユニット（1台目）を選ぶ



「datanavi」を選び、[決定]を押す



「機器登録」を選び、[決定]を押す



このリモコンに接続されている室外ユニット→室内ユニットの順に表示

2 datanaviアプリを立ち上げてリモコン画面を読み取る

- 接続機器品番直接入力による機器登録を行った場合はサービス保証2年延長の対象となりません。サービス保証2年の対象とする場合は「接続機器品番の読み取り」で機器登録をしてください。



「機器登録」を選ぶ



「接続機器品番の読み取り」を選ぶ



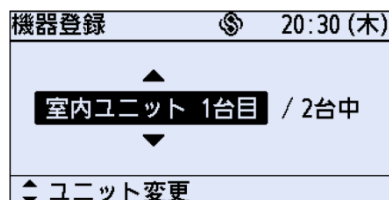
スマホをリモコン画面にかざして読み取る

3 「追加」を選び、室内ユニット（1台目）を読み取る



「追加」を選ぶ

- 「読取進捗状況」画面に、すでに読み取った室外機のイラストが表示されています。



リモコンの[▲]を押して次の機器を表示する（室内ユニット1台目）。



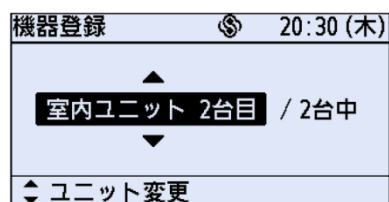
スマホをリモコン画面にかざして読み取る

4 「追加」を選び、室内ユニット（2台目）を読み取る



「追加」を選ぶ

- 「読取進捗状況」画面に、読み取った室内機のイラストが表示されます。
- 未登録の室内機があるので、「追加」を選びます。



リモコンの[▲]を押して次の機器を表示する（室内ユニット2台目）。



スマホをリモコン画面にかざして読み取る

5 すべての読み取りが終わるまで（手順6の画面になるまで）手順4を繰り返す

- 全機種読取画完了すると自動的に機器情報画面が表示されます（手順7）。

6 機器情報を入力する

- 機器設置情報の詳細については、「物件情報入力項目」（P.26）をご確認ください。



各ユニットの機器名称、製造番号を入力する（任意）

- 機器名称は、設置場所や位置がわかるような名称を入力します。製造番号は、各ユニットに貼付されているラベルに記載の番号を入力します。



サービス連絡先の法人名称と電話番号、設置日を入力する（必要であれば備考も入力する）

- 「物件情報を反映」を選ぶと物件情報と同じ値が反映されます。
- 「機器ごとに簡単点検時期お知らせメールを送信する（3ヶ月毎）」をチェックすると入力した設置日を基準として、機器ごとにお知らせメールが送信されます。
- 「備考」には個人情報は入力しないでください。

7 入力した機器情報を保存し完了する



「機器登録完了」を選ぶ



「物件登録」を選ぶ



- 機器登録は完了です。つづけて、物件登録を行ってください。（P.24）

8 「既存物件情報に追加」から登録する物件を選ぶ

- ・ 機器情報と物件情報の紐づけを行わないと、情報がクラウド上に登録・保存されません。



「既存物件情報に追加」を選ぶ

物件選択のリストから物件を選ぶ

- 「新規物件」は『物件登録』（P.24）をご確認ください。

9 物件を追加・保存する



「はい」を選ぶ

「確認」を選ぶ

- トップ画面に戻ります。

試運転データ登録

3-2-1 試運転データの登録・確認

Bluetooth対応リモコン

datanaviで試運転中の温度データなどを簡単に取得し、クラウドに保存できます。

試運転を行った際の情報がいつでも閲覧できるようになるため、試運転時には問題なく動作していたのかどうかなどを判断材料として活用できるようになります。

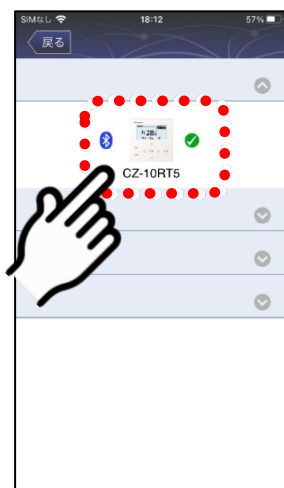
- 読み取るデータは、現在の運転データ（瞬時値）です。正確な試運転データを取得するために、試運転開始15分以上経過後に読み取り操作を行ってください。

1 datanaviアプリからリモコンに接続する



「Bluetooth読み取り」を選ぶ

- 事前にスマートフォンのBluetooth機能をオンに設定してください。



表示されたリモコンを選ぶ

- ペアリング方法について詳しくは『Bluetooth対応リモコンの場合』（P.16）をご確認ください。

現場登録編

2 「試運転データ」からデータを読み取る機器を選ぶ



「試運転データ」を選ぶ



「表示」を選ぶ

3-2-1 試運転データの登録・確認（つづき）

Bluetooth対応リモコン

3 試運転データを読み取ったら、保存して確認する



「読み取り」を選ぶ



「保存」を選ぶ



「確認」を選ぶ



● 試運転データを確認してください。

試運転データ登録

3-2-2 試運転データ登録前の確認

光ID対応リモコン

datanaviで試運転中の温度データなどを簡単に取得し、クラウドに保存できます。

試運転を行った際の情報がいつでも閲覧できるようになるため、試運転時には問題なく動作していたのかどうかなどを判断材料として活用できるようになります。

- 読み取るデータは、現在の運転データ（瞬時値）です。正確な試運転データを取得するために、試運転開始15分以上経過後に読み取り操作を行ってください。

1 リモコンに接続されている室内機台数が**1台**の場合 ⇒ 3-2-3「シングル機種種のデータ登録」(P.39)



リモコンに接続されている室内機台数が**複数台**の場合 ⇒ 3-2-4「シングル機種以外のデータ登録」(P.40)



試運転データ登録

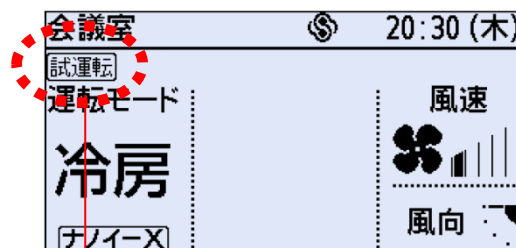
3-2-3 シングル機種種のデータ登録

光ID対応リモコン

1 試運転モードで運転中の待ち受け画面を表示する



- 他の画面を表示している場合は、[戻る]を押して、右図の画面を表示してください。



試運転中は「試運転」が表示されます。

2 datanaviアプリを立ち上げてリモコン画面を読み取る



「光ID読み取り」を選ぶ



スマホをリモコン画面にかざして読み取る

- 試運転マークが点灯していることを確認します。

3 試運転データを読み取ったら、保存して確認する



「保存」を選ぶ



「確認」を選ぶ



- 試運転データを確認してください。

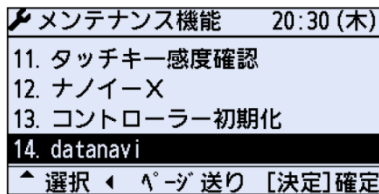
試運転データ登録

3-2-4 シングル機種以外のデータ登録

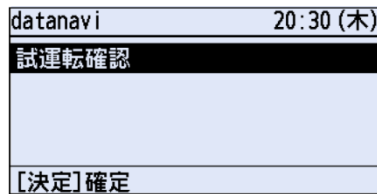
光ID対応リモコン

シングル機種以外で、メーカーサービス保証の2年延長をご希望の場合、以下の手順で、1台ずつ試運転データを読み取り、データを保存していただく必要があります。

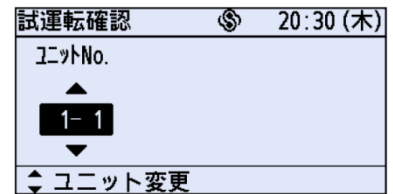
1 リモコンを操作し、試運転状況を確認したい機器を選ぶ



「datanavi」を選ぶ



「試運転確認」を選び、[決定]を押す



試運転状況を確認したい機器を選ぶ

- この画面を読み取ります。

2 datanaviアプリを立ち上げてリモコン画面を読み取る



「光ID読み取り」を選ぶ



スマホをリモコン画面にかざして読み取る

3 試運転データを読み取ったら、保存して確認する



「保存」を選ぶ



「確認」を選ぶ



「TOP」を選ぶ

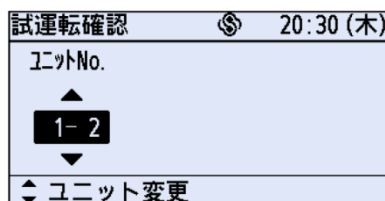
3-2-4 シングル機種以外のデータ登録（つづき）

光ID対応リモコン

4 datanaviアプリを立ち上げて、試運転状況を確認したい機器のリモコン画面を読み取る



「光ID読み取り」を選ぶ



次に試運転状況を確認したい機器を選ぶ



スマホをリモコン画面にかざして読み取る

5 試運転データを読み取ったら、保存して確認する



「保存」を選ぶ



「確認」を選ぶ



● 試運転データを確認してください。

6 すべての機器の試運転データを取得できたら、操作完了

試運転データ登録

3-2-5 サービス保証2年延長の確認

サービス保証2年延長登録が完了しているかは、以下の手順で確認します。

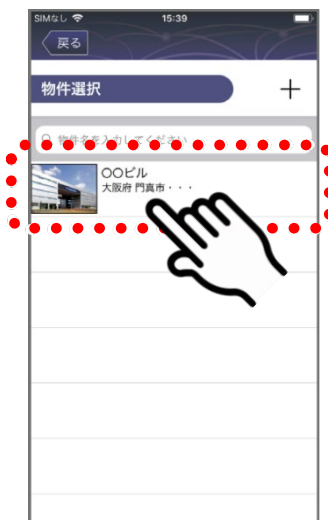
延長登録完了のメールが、物件管理者様の登録メールアドレスに発信されますのでご確認ください。

- ・ドメイン指定受信、メール指定受信などの設定をされている方は、「datanavi-support@gg.jp.panasonic.com」からのメールを受信できるよう、設定変更していただかないと、3年保証対象をお知らせするメールが受信できませんのでご注意ください。

1 「物件情報」から「試運転データ」を選ぶ



「物件情報」を選ぶ



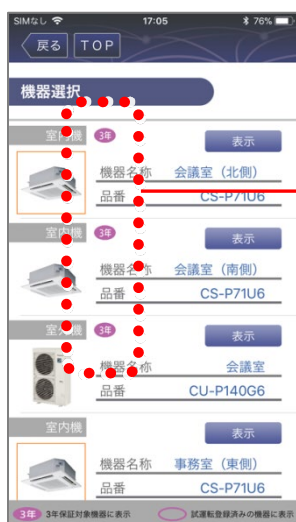
物件選択のリストから物件を選ぶ



メニューから「試運転データ」を選ぶ

現場登録編

2 機器に表示されるマークを確認する



接続機器一覧に、マークが付いているか確認する

機器ごとに試運転データを登録すると、画面上に以下のマークが表示されます。

- 3年** : サービス保証2年延長登録済です。
(元の1年保証と合わせて合計で3年保証になります)
- : 試運転データ登録済です。
(サービス保証2年延長の対象外機種です)
- 無印** : 試運転データが登録されていません。
試運転データを登録してください。(P.36/P.38)

こんなときは

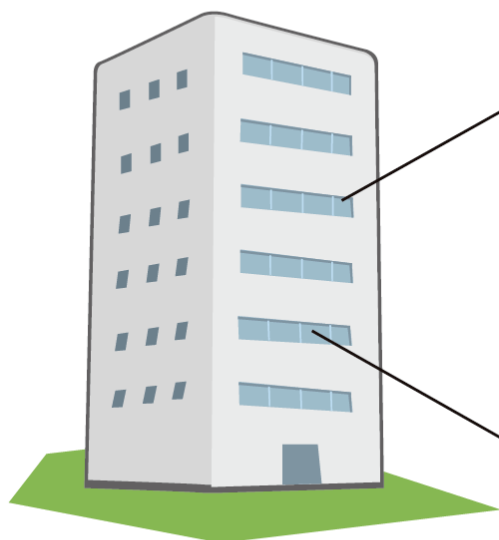
3-3-1 既存物件に機器を追加登録したい

同一の物件に複数の空調機が設置されている場合、登録済の物件情報に機器情報を追加登録をすることで、datanavi上で一括管理できます。

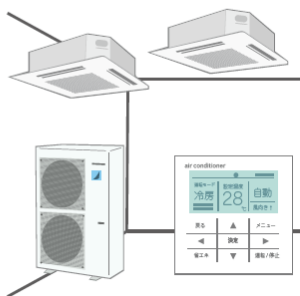


会議室だけでなく、
事務室の空調機もdatanaviで
一括管理したい……

物件名
『〇〇ビル』

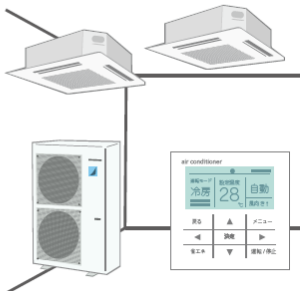


会議室



最初に登録する空調機
機器登録＋物件登録

事務室



追加登録する空調機
機器登録のみ

**追加登録する機器情報を既存物件に追加することができるので、
物件情報を入力する手間が省けます。**

3-3-1 既存物件に機器を追加登録したい（つづき）

1 P.28～31 Bluetooth対応リモコン / P.32～35 光ID対応リモコン の手順に従って、追加する空調機の機器登録の読み取りを行う

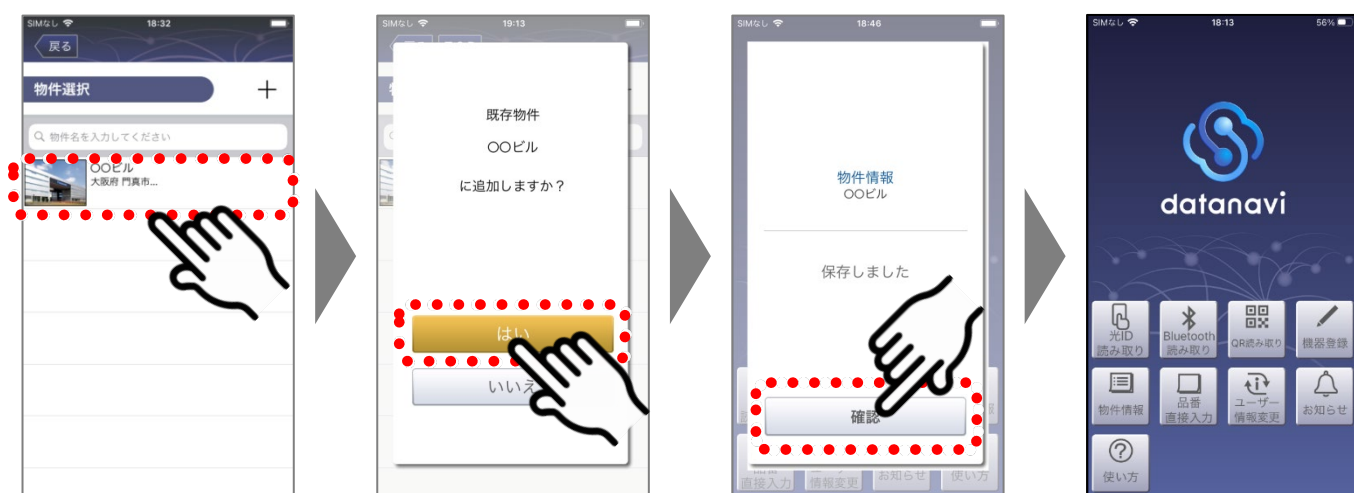
2 「既存物件情報に追加」を選ぶ



手順7 (P.30) から、または
手順8 (P.34) から

「既存物件情報に追加」を選ぶ

3 物件を選び、追加する



機器情報を追加する物件を選ぶ

「はい」を選ぶ

「確認」を選ぶ

● トップ画面に戻ります。

こんなときは 3-3-2 物件管理者、物件副管理者、共有ユーザーを変更したい

物件管理者や物件副管理者が交代した場合は、物件管理者、物件副管理者の変更や、共有ユーザーを追加/削除します。

1 「物件情報」から変更する物件を選ぶ



「物件情報」を選ぶ



変更する物件を選ぶ

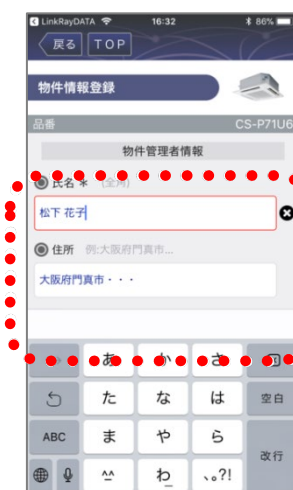


メニューから「物件情報確認」を選ぶ

2 「編集する」を選び、物件管理者情報を変更する



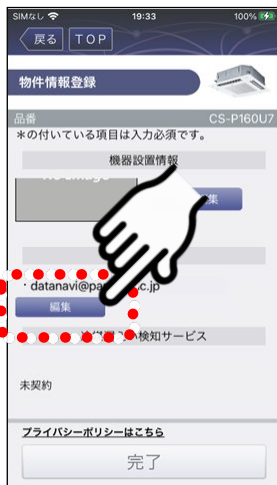
「編集する」を選ぶ



変更したい項目を選び、内容を変更する

- 入力項目は「物件情報入力項目」(P.25)を参照してください。

3 「編集する」を選び、物件管理者、物件副管理者を追加・変更する



「編集する」を選ぶ



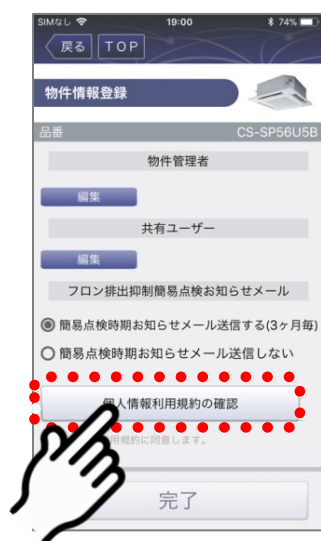
情報を編集する



「完了」を選ぶ

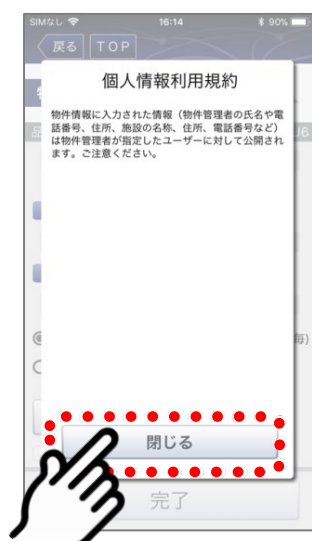
3-3-2 物件管理者、物件副管理者、共有ユーザーを変更したい（つづき）

4 個人情報利用規約を確認する

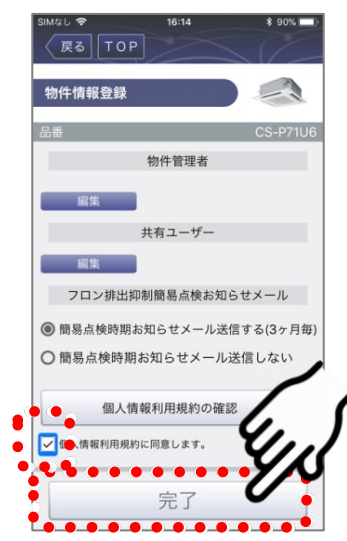


「個人情報利用規約の確認」を選ぶ

- 個人情報利用規約を確認しただけであれば、完了できません。



確認後、「閉じる」を選ぶ



「個人情報利用規約に同意します。」にチェックを入れ、「完了」を選ぶ

5 変更した内容を登録する



「物件情報登録」を選ぶ



「確認」を選ぶ



- トップ画面に戻ります。

こんなときは

3-3-3 品番を直接入力して機器登録したい

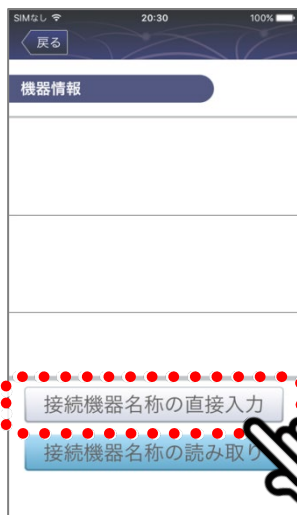
datanaviに対応していないリモコンをご使用の場合や、他社製品をご使用の場合でも、品番直接入力で機器登録を行えば、datanaviをご活用いただけます。

- 品番直接入力による機器登録を行った場合はサービス保証2年延長の対象となりませんので、サービス保証2年の対象とする場合は P.29～/P.32～の手順で機器登録をお願いいたします。また、他社製品をご使用の場合、取扱説明書の閲覧ができないなど、ご利用可能な機能に制限があります。

1 「機器登録」から「接続機器名称の直接入力」を選ぶ



「機器登録」を選ぶ



「接続機器名称の直接入力」を選ぶ

2 情報を直接入力する



- 入力項目（*は入力が必要な項目です）

室外機/室内機*

室内機/室外機/室外子機の種別を選択肢の中からスクロールして選びます。

機器名称

品番*

製造番号

製造番号は、室内機あるいは室外機に貼付されているラベルの製造番号を記入してください。

物件情報を反映

「物件情報を反映」をチェックすると物件情報と同じ値が反映されます。

「機器ごとに簡単点検時期お知らせメールを送信する（3ヶ月毎）」をチェックすると入力した設置日を基準として、機器ごとにお知らせメールが送信されます。

サービス連絡先法人名称

サービス連絡先法人電話番号

設置日

ユニット番号（1～64/未定）

ユニット番号は、リモコンの取扱説明書をご確認ください。

系統番号（1～32/未定）

系統番号は、リモコンの取扱説明書をご確認ください。

集中アドレス（1～64/未定）

インテリジェントコントローラーなどの集中制御機器で制御している場合、集中アドレスも合わせて入力することができます。そうでない場合は、「未定」としてください。

備考

「備考」には個人情報を入力しないでください。

3-3-3 品番を直接入力して機器登録したい（つづき）

3 入力が完了したら登録する（必要に応じて繰り返す）



「登録」を選ぶ



全ての室内外ユニットの登録が完了するまで、直接入力を続ける（手順2）

4 機器登録を完了する



全ての室内外ユニットの登録が完了したら、「機器登録完了」を選ぶ



「物件登録」を選ぶ



- 機器登録は完了です。つづけて、物件登録を行ってください。（P.24）

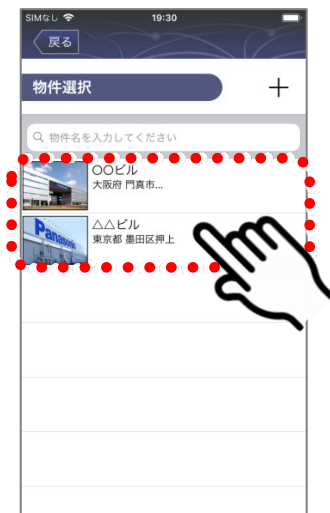
こんなときは 3-3-4 登録済の機器を別の物件に移動したい

datanaviに登録済の機器を別の物件に移動させることができます。

1 「物件情報」から移動する物件を選ぶ



「物件情報」を選ぶ



物件選択のリストから移動元の物件を選ぶ



メニューから「機器情報確認」を選ぶ

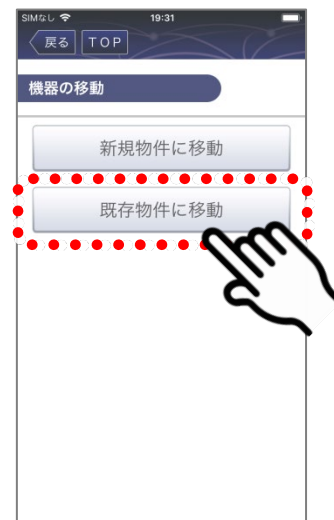
2 「編集する」から「移動」を選ぶ



「編集する」を選ぶ



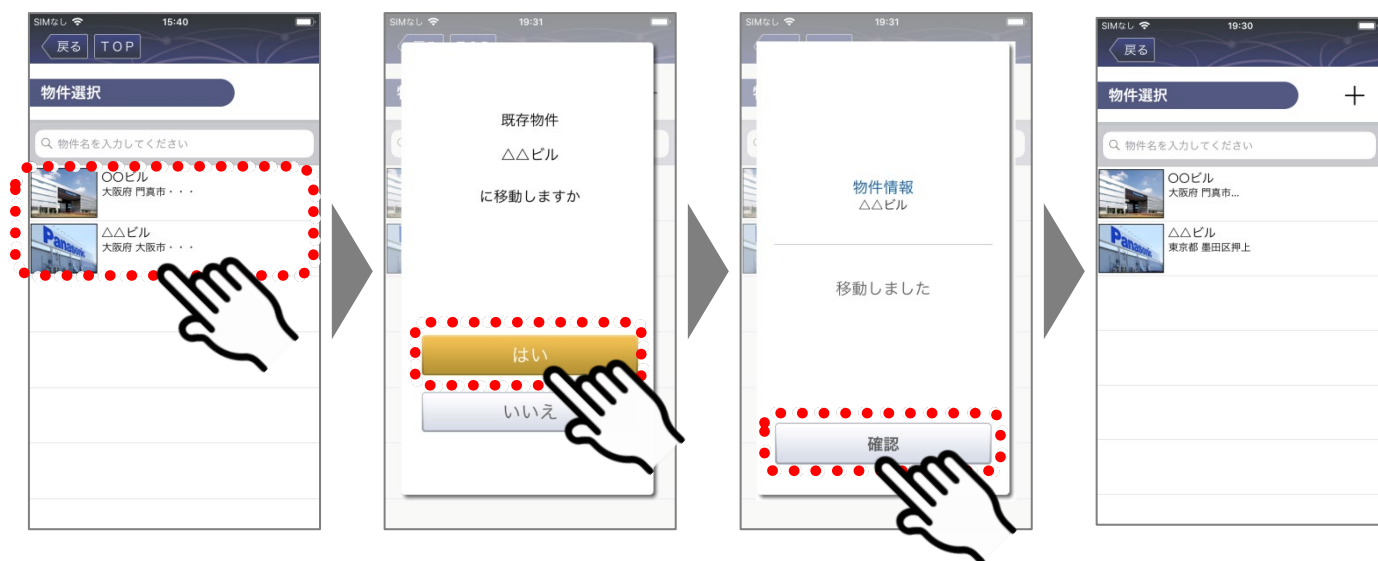
「移動」を選ぶ



- 「既存物件に移動」を選ぶ
- 新規物件に移動させるときは、「新規物件に移動」を選び、『物件登録』（P.24）をご確認ください。

3-3-4 登録済の機器を別の物件に移動したい（つづき）

3 移動先を選んで決定する



物件選択のリストから
移動先の物件を選ぶ

「はい」を選ぶ

「確認」を選ぶ

● 「物件選択」画面
に戻ります。

活用編

運転状況の保存・閲覧	52
各種資料の閲覧	57
警報情報の確認	62
フロン排出抑制簡易点検情報	68
冷媒漏えい検知サービス	70
省エネモニターの保存・閲覧	75
試運転データ履歴の閲覧	79
センサー情報の取得	81
サービス情報の登録・閲覧	84
ファイル出力	88
QRコードの作成・読み取り	89
ユーザー情報変更	91
退会手続き	92
その他	93

運転状況の保存・閲覧

4-1-1 運転状況の保存

Bluetooth対応リモコン

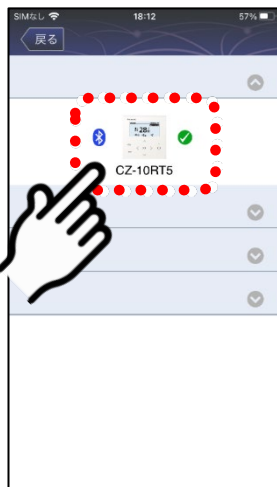
datanavi で現在の運転データなどを簡単に取得し、クラウドに保存できます。（リモコン待受画面）

1 datanaviアプリからリモコンに接続する



「Bluetooth読み取り」を選ぶ

- 事前にスマートフォンのBluetooth機能をオンに設定してください。



表示されたリモコンを選ぶ

- ペ어링方法について詳しくは『Bluetooth対応リモコンの場合』（P.16）をご確認ください。

2 「運転状況登録」を選ぶ



3 「運転状況履歴」画面から運転状況を読み取り、保存する



「読取」を選ぶ



「保存」を選ぶ



「確認」を選ぶ



- 運転状況を確認してください。

運転状況の保存・閲覧

4-1-2 運転状況の保存

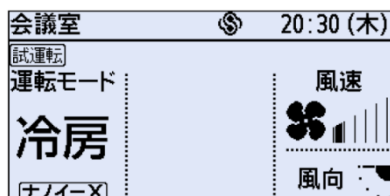
光ID対応リモコン

datanavi で現在の運転データなどを簡単に取得し、クラウドに保存できます。（リモコン待受画面）

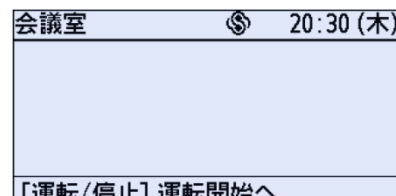
1 リモコンの[運転/停止]を操作して画面を表示する



- 他の画面を表示している場合は、[戻る]を押して、以下の画面を表示してください。（この画面を読み取ります）



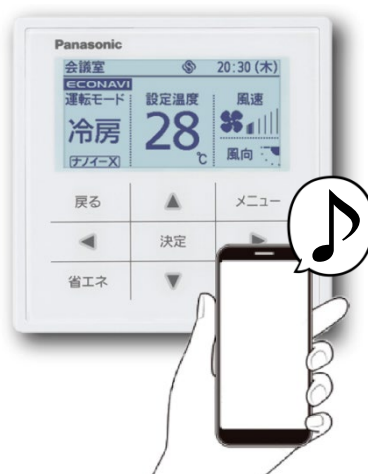
または



2 datanaviアプリを立ち上げてリモコン画面を読み取る



「光ID読み取り」を選ぶ



スマホをリモコン画面にかざして読み取る

3 表示された運転状況データを保存する



「保存」を選ぶ

運転状況の保存・閲覧

4-1-3 詳細な運転状況の確認

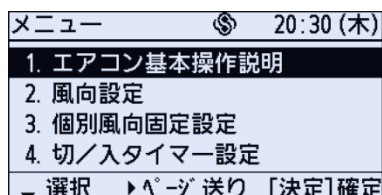
光ID対応リモコン

光ID通信を使ってメニュー一覧画面から取得した場合、室内機や室外機（親機）の熱交換器の温度など、詳細な運転状況を確認することが出来ます。（保存はできません）

1 リモコンの[メニュー]を操作してメニュー画面を表示する



[メニュー]を押す



- この画面を読み取ります。

2 datanaviアプリを立ち上げてリモコン画面を読み取る

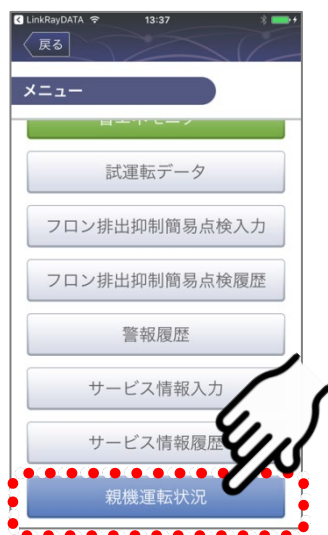


「光ID読み取り」を選ぶ



スマホをリモコン画面にかざして読み取る

3 「親機運転状況」から運転状況を確認する



「親機運転状況」を選ぶ



- 親機の運転状況が表示されます。

運転状況の保存・閲覧

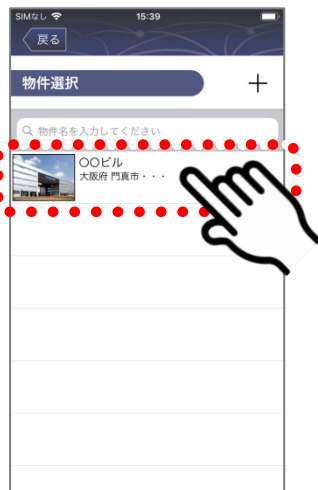
4-1-4 運転状況の履歴の閲覧

過去にクラウドに保存した運転状況データを「物件情報」から閲覧することができます。

1 「物件情報」から履歴を閲覧する物件を選ぶ



「物件情報」を選ぶ



物件選択のリストから物件を選ぶ

2 メニューから「運転状況履歴」を選ぶ



「運転状況履歴」を選ぶ

3 機器・日時を選び、運転状況履歴を表示する



対象機器の「表示」を選ぶ



閲覧したい日時を選ぶ



● 運転状況の履歴が表示されます。

■ 「Bluetooth読み取り」から運転状況の履歴を閲覧する場合

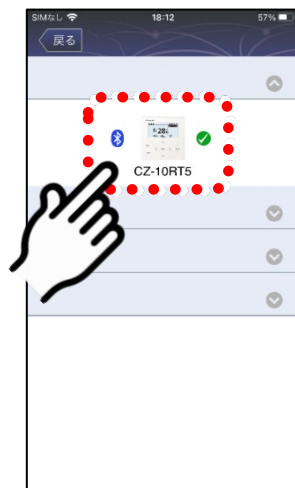
Bluetooth接続した機器を選んで、運転状況データを閲覧することもできます。

1 datanaviアプリからリモコンに接続する



「Bluetooth読み取り」を選ぶ

- 事前にスマートフォンのBluetooth機能をオンに設定してください。



表示されたリモコンを選ぶ

- ペアリング方法について詳しくは『Bluetooth対応リモコンの場合』（P.16）をご確認ください。

2 「運転状況履歴」を選ぶ（以降の操作はP.55の手順3と同じです）



「運転状況履歴」を選ぶ

各種資料の閲覧

4-2-1 資料の閲覧

物件情報から、空調機器の取扱説明書などの資料を、簡単に検索・閲覧することができます。

- ・ユーザー種別により、閲覧可能な資料の種類には制限があります。
- ・閲覧は機器情報の登録が必要です。

1 「物件情報」から「各種資料」を選ぶ



「物件情報」を選ぶ



物件選択のリストから物件を選ぶ



「各種」を選ぶ

2 閲覧したい機器・資料を選ぶ



対象機器の「表示」を選ぶ



閲覧したい資料を選ぶ



閲覧方法を選ぶ

3-1 （「datanaviで開く」を選んだ場合）datanaviで資料を表示する



- datanavi上で資料が表示されます。

3-2 （「ブラウザで開く」を選んだ場合）ブラウザで資料を表示する



免責文を確認する



- ブラウザ上で資料が表示されます。

■ 「Bluetooth読み取り」から資料を閲覧する場合

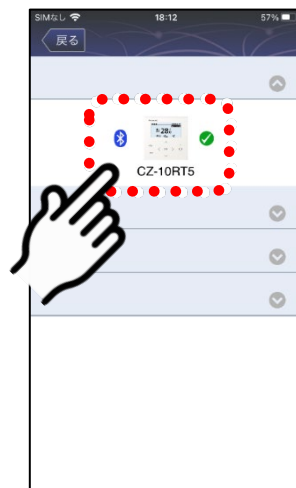
Bluetooth接続した機器を選んで、機器の資料を閲覧することもできます。

1 datanaviアプリからリモコンに接続する



「Bluetooth読み取り」を選ぶ

- 事前にスマートフォンのBluetooth機能をオンに設定してください。



表示されたリモコンを選ぶ

- ペアリング方法について詳しくは『Bluetooth対応リモコンの場合』(P.16)をご確認ください。

2 「各種資料」を選ぶ (以降の操作はP.57の手順2～と同じです)



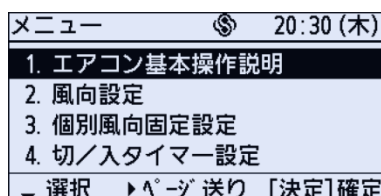
■ 「光ID読み取り」から資料を閲覧する場合

リモコン画面から光IDを読み取って、機器の資料を閲覧することもできます。

1 リモコンの[メニュー]を操作してメニュー画面を表示する



[メニュー]を押す



- この画面を読み取ります。

2 datanaviアプリを立ち上げてリモコン画面を読み取る



「光ID読み取り」を選ぶ



スマホをリモコン画面にかざして読み取る

3 「各種資料」を選ぶ (以降の操作はP.57の手順2～と同じです)



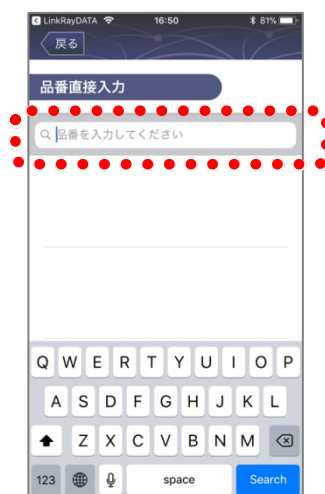
■ 品番を直接入力して資料を閲覧する場合

品番を直接入力して、機器の資料を閲覧することもできます。

1 「品番直接入力」から閲覧したい機器の品番を入力する



「品番直接入力」を選ぶ



資料を閲覧したい機器の品番を半角英数字で入力する

2 閲覧したい機器・資料を選ぶ (以降の操作はP.57の手順2～と同じです)

警報情報の確認

4-3-1 発生中の警報情報の取得

Bluetooth対応リモコン

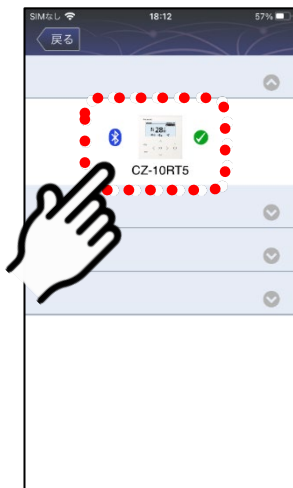
空調機が異常状態のとき、異常の内容や対処方法を取得することができます。
また、異常の内容をサービス業者に簡単に共有することができます。

1 datanaviアプリからリモコンに接続する



「Bluetooth読み取り」を選ぶ

- 事前にスマートフォンのBluetooth機能をオンに設定してください。



表示されたリモコンを選ぶ

- ペ어링方法について詳しくは『Bluetooth対応リモコンの場合』（P.16）をご確認ください。

2 「警報登録」を選び、警報履歴を読み取る



「警報登録」を選ぶ



「読取」を選ぶ

4-3-1 発生中の警報情報の取得（つづき）

Bluetooth対応リモコン

3 異常の内容を確認し、画面の指示にしたがって対処する



- 異常内容を確認し、再運転してもエラーになるときは、「再度エラーになった時はこちら」を選んでください。
- 「送信する」を選ぶと、異常内容をサービス業者に送信することができ、データを保存します。
- 「確認」を選ぶ
- 「電話する」を選ぶと、登録されている管理者またはサービス業者に連絡をとることができます。

警報情報の確認

4-3-2 発生中の警報情報の取得

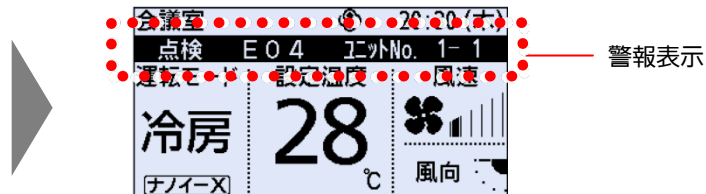
光ID対応リモコン

空調機が異常状態のとき、異常の内容や対処方法を取得することができます。
また、異常の内容をサービス業者に簡単に共有することができます。

1 リモコンを操作し、警報情報が表示されている画面を表示する



[運転/停止]を押して運転ONの状態にする

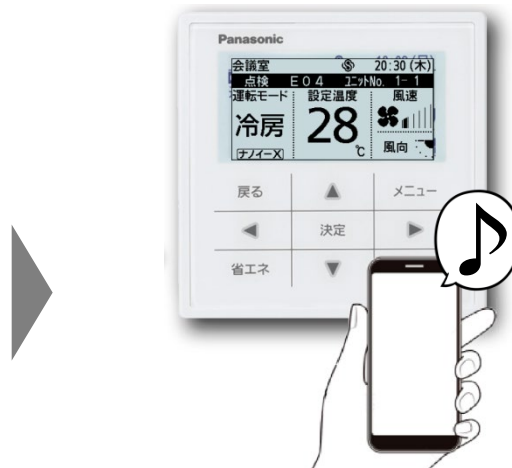


- この画面を読み取ります。

2 datanaviアプリを立ち上げてリモコン画面を読み取る

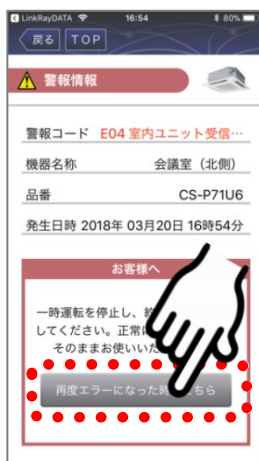


「光ID読み取り」を選ぶ

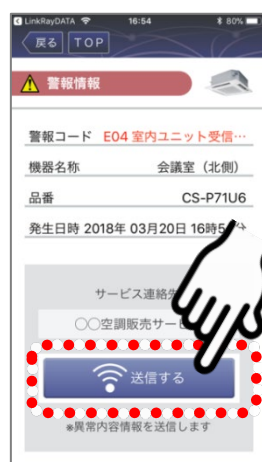


スマホをリモコン画面にかざして読み取る

3 異常の内容を確認し、画面の指示にしたがって対処する



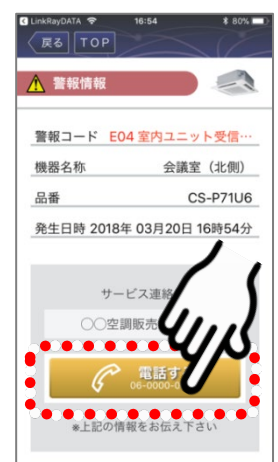
- 異常内容を確認し、再運転してもエラーになるときは、「再度エラーになった時はこちら」を選んでください。



- 「送信する」を選ぶと、異常内容をサービス業者に送信することができます。データを保存します。



- 「確認」を選ぶ



- 「電話する」を選ぶと、登録されている管理者またはサービス業者に連絡をとることができます。

警報情報の確認

4-3-3 警報情報の履歴の閲覧

過去の警報情報の履歴を閲覧することができます。

1 「物件情報」から「警報履歴」を選ぶ



「物件情報」を選ぶ



物件選択のリストから物件を選ぶ



「警報履歴」を選ぶ

2 機器・日時を選び、警報履歴を表示する



対象機器の「表示」を選ぶ



閲覧したい日時を選ぶ



● 警報の履歴が表示されます。

■ 「Bluetooth読み取り」から警報履歴を閲覧する場合

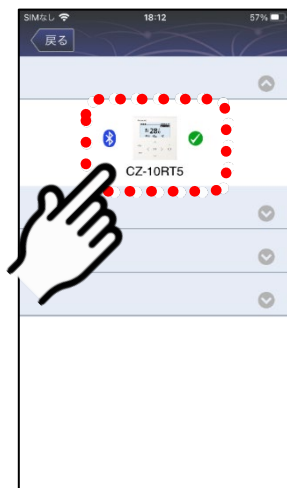
Bluetooth接続した機器を選んで、警報情報の履歴を閲覧することもできます。

1 datanaviアプリからリモコンに接続する



「Bluetooth読み取り」を選ぶ

- 事前にスマートフォンのBluetooth機能をオンに設定してください。



表示されたリモコンを選ぶ

- ペ어링方法について詳しくは『Bluetooth対応リモコンの場合』（P.16）をご確認ください。

2 「警報登録」を選び、閲覧したい日時を選ぶ



「警報登録」を選ぶ



閲覧したい日時を選ぶ



- 警報の履歴が表示されます。

警報情報の確認

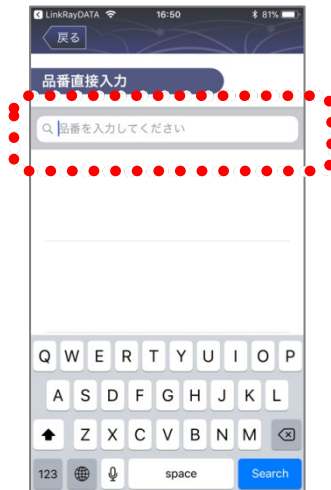
4-3-4 警報情報の検索

警報コードとその内容を、直接入力により閲覧することができます。

1 「品番直接入力」から閲覧したい機器の品番を入力する



「品番直接入力」を選ぶ



検索したい機器の品番を半角英数字で入力する

2 検索したい機器を選ぶ

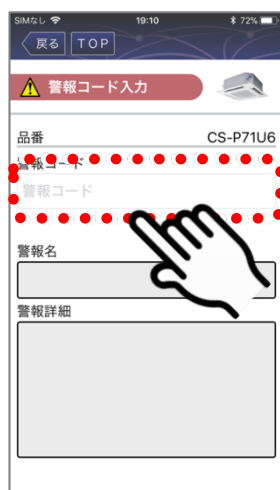


検索結果から対象機器の「表示」を選ぶ

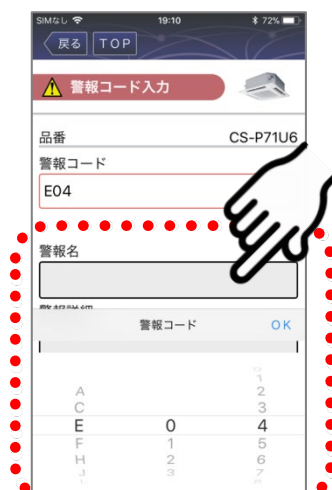


「警報情報入力」を選ぶ

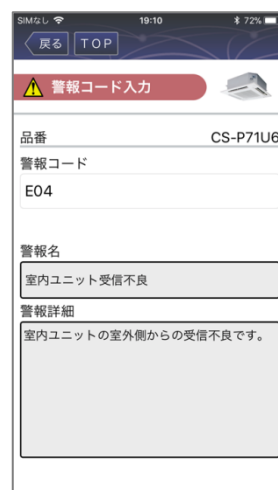
3 警報コードを選択し、警報の内容を確認する



警報コードを選ぶ



警報コードをスクロールして選ぶ



● 警報の内容が表示されます。

フロン排出抑制簡易点検情報

4-4-1 フロン排出抑制簡易点検入力

フロン排出抑制法による3ヶ月ごとの簡易点検を、アプリ上で簡単に実施・記録することができます。

1 「物件情報」から「フロン排出抑制簡易点検入力」を選ぶ



「物件情報」を選ぶ



物件選択のリストから物件を選ぶ

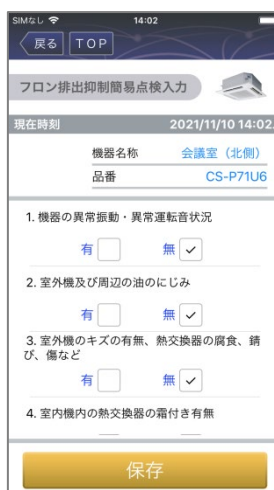


「フロン排出抑制簡易点検入力」を選ぶ

2 対象機器を選び、入力する



対象機器の「入力」を選ぶ



項目ごとにチェックし、必要に応じて点検時のメモや点検者の氏名を入力する
● 入力後、「保存」を選びます。



3 確認し、「物件選択」画面に戻る



「確認」を選ぶ



● 「物件選択」画面に戻ります。

フロン排出抑制簡易点検情報

4-4-2 フロン排出抑制簡易点検履歴

過去に実施した簡易点検の履歴を閲覧することができます。

1 「物件情報」から「フロン排出抑制簡易点検履歴」を選ぶ



「物件情報」を選ぶ



物件選択のリストから物件を選ぶ



「フロン排出抑制簡易点検履歴」を選ぶ

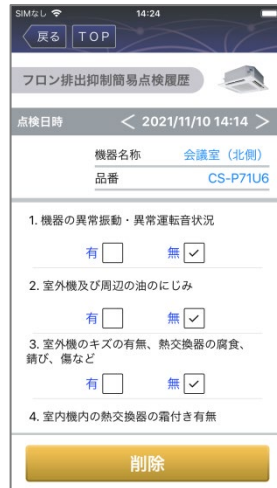
2 対象機器を選び、履歴を表示する



対象機器の「表示」を選ぶ



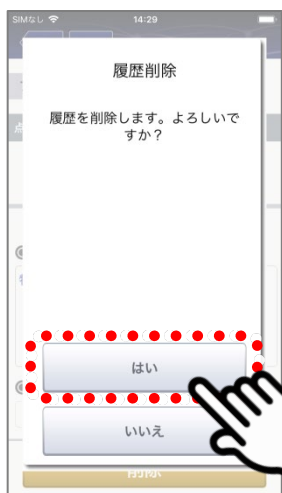
閲覧したい日時を選ぶ



- 履歴を確認します。
- 履歴を削除するときは「削除」を選びます。



3 （「削除」を選択した場合）画面を確認し、削除する



「はい」を選ぶ

- 削除した履歴は元に戻せません。



「確認」を選ぶ



- フロン排出抑制簡易点検履歴が削除されていることを確認してください。

冷媒漏えい検知サービス

4-5-1 冷媒漏えい検知サービスの申し込み

冷媒漏えい検知サービス（有料サービス）が未契約である物件について、datanaviアプリから申し込みを行うことができます。

- 物件管理者、物件副管理者（閲覧・編集権限）のみ可能です。

1 「物件情報」から「物件情報確認」を選ぶ



「物件情報」を選ぶ

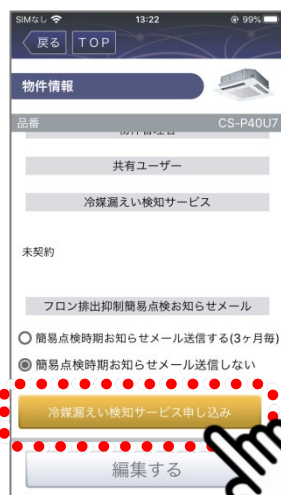


物件選択のリストから冷媒漏えい検知サービスを申し込みたい物件を選ぶ

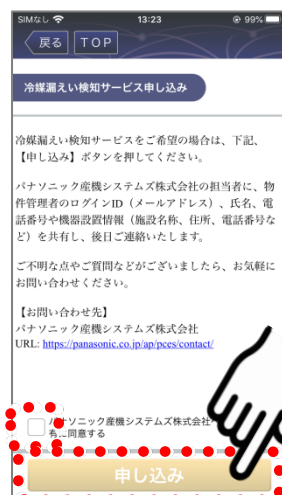


「物件情報確認」を選ぶ

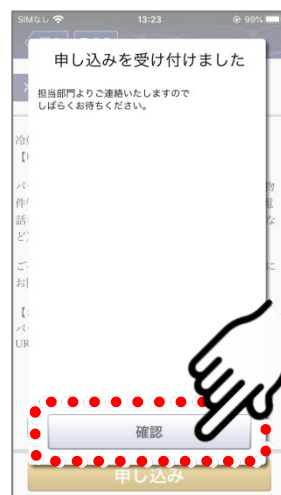
2 冷媒漏えい検知サービスを申し込む



「冷媒漏えい検知サービス申し込み」を選ぶ



注意事項をご確認のうえ、「申し込み」を選ぶ



「確認」を選び、トップ画面に戻る

3 申し込みいただくと、パナソニック産機システムズ（株）担当者から連絡がご

ざいます。手続き完了後、冷媒漏えい検知サービスが利用可能になります。

冷媒漏えい検知サービス 4-5-2 冷媒漏えい検知状況確認

物件や室外機ごとの冷媒漏えい検知状況やサービス契約状況を確認することができます。

- ・トップ画面の「物件情報」に ⚠ が表示されているときは、ご利用者様が物件（副）管理者になっている物件の中に、漏えい異常が発生している室外機があります。以下の手順で確認してください。



1 「物件情報」から「機器情報確認」を選ぶ



「物件情報」を選ぶ



物件選択のリストから物件を選ぶ



「機器情報確認」を選ぶ

- 漏えい検知中** : 漏えい検知を実施中で、漏えい異常は発生していません。
- 漏えい検知** : 漏えい検知を一時停止中です。
- ⚠ 漏えい異常** : 漏えい異常が発生している室外機があります。

2 冷媒漏えい検知サービスの契約期間を表示する



冷媒漏えい検知サービス契約中の室外機の Ⓢ を選ぶ

- 漏えい検知中** : 漏えい検知を実施中で、漏えい異常は発生していません。
- 漏えい検知** : 漏えい検知を一時停止中です。
- ⚠ 漏えい異常** : 漏えい異常が発生している室外機があります。

- 表示されていないときは、媒漏えい検知サービス未契約です。（上記は室外機のみに表示されます）



- 冷媒漏えい検知サービスの契約期間が表示されます。

冷媒漏えい検知サービス

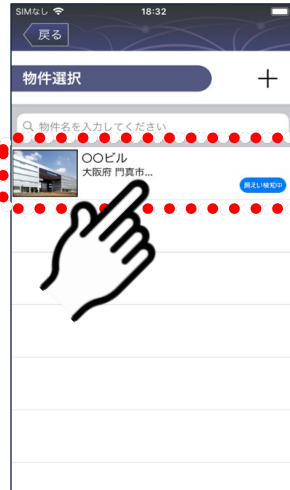
4-5-3 冷媒漏えい検知サービスの設定変更

冷媒漏えい検知サービス契約中の物件について、設定を確認・変更します。

1 「物件情報」から「物件情報確認」を選ぶ



「物件情報」を選ぶ

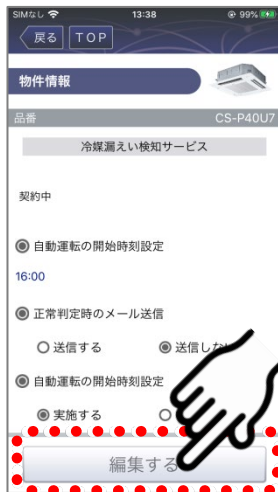


物件選択のリストから物件を選ぶ

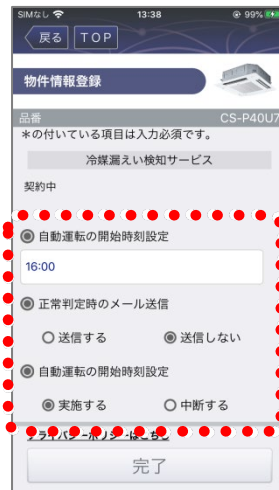


「物件情報確認」を選ぶ

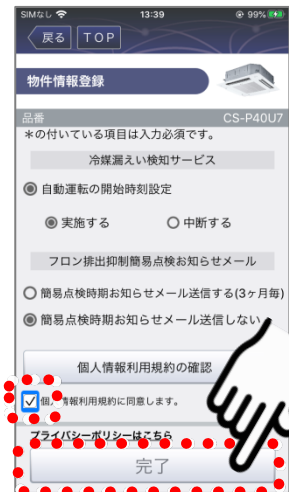
2 冷媒漏えい検知サービスの各設定を変更する



冷媒漏えい検知サービスの各設定を確認し、「編集する」を選ぶ



冷媒漏えい検知サービスの各設定を変更する



個人情報利用規約を確認・同意後、「完了」を選ぶ

<設定項目>

「自動運転の開始時刻設定」： 空調機が24時間運転されなかったなどで、冷媒漏えい検知に必要なデータが取得できなかった場合、この時刻に空調機を自動運転させて必要なデータを取得し、冷媒漏えい検知を実施します。

「正常判定時のメール送信」： 「送信する」： 漏えい異常がなくても検知結果をメール通知します。
「送信しない」： 漏えい異常があった場合にのみ検知結果をメール通知します。

「冷媒漏えい検知」： 冷媒漏えい検知を一時的に中断したい場合は「中断する」を選択してください。

冷媒漏えい検知サービス

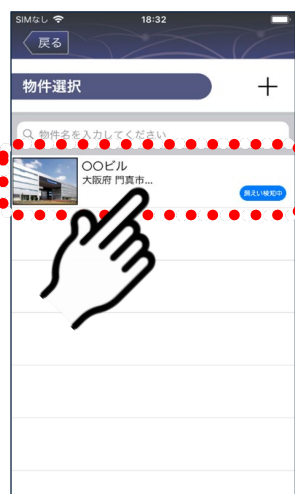
4-5-4 冷媒漏えい検知サービス記録の確認

冷媒漏えい検知サービスの記録を確認します。

1 「物件情報」から「冷媒漏えい検知サービス記録」を選ぶ



「物件情報」を選ぶ



物件選択のリストから物件を選ぶ



「冷媒漏えい検知サービス記録」を選ぶ

2 確認する記録の年/月/日を選ぶ

- 冷媒漏えい検知結果がない年/月/日は表示されません。
- 漏えい異常が含まれる年/月/日については赤字で表示されます。



冷媒漏えい検知結果を確認したい年を選ぶ

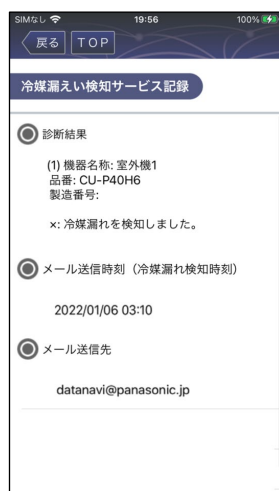


冷媒漏えい検知結果を確認したい月を選ぶ



漏えい異常が発生している日を選ぶ

3 冷媒漏えい検知サービス記録を確認する



- 物件に含まれる契約中の室外機ごとの検知結果、メール通知日時、メールの送信先が表示されます。

省エネモニターの保存・閲覧

4-6-1 消費電力量の保存

Bluetooth対応リモコン

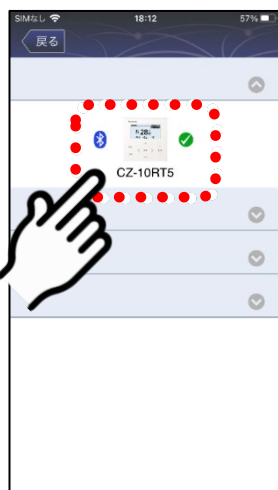
1日、1週間、1年間それぞれの消費電力量を、Bluetooth通信で取得することができます。

1 datanaviアプリからリモコンに接続する



「Bluetooth読み取り」を選ぶ

- 事前にスマートフォンのBluetooth機能をオンに設定してください。



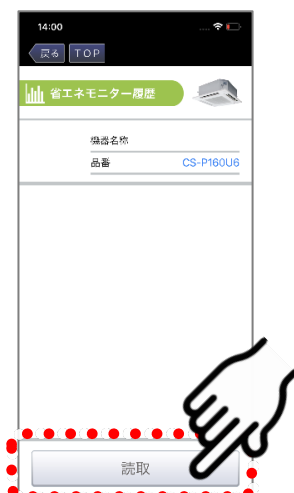
表示されたリモコンを選ぶ

- ペ어링方法について詳しくは『Bluetooth対応リモコンの場合』（P.16）をご確認ください。

2 「省エネモニター」から省エネモニター履歴を読み取る



「省エネモニター」を選ぶ



「読取」を選ぶ

3 消費電力量を確認し、保存する



タブから「1日」「1週間」「1年間」を選んで、1日/1週間/1年間それぞれの消費電力量を確認できます。

情報を保存したいときは「保存」を選びます。



「保存」を選ぶ



- 消費電力量を確認してください。

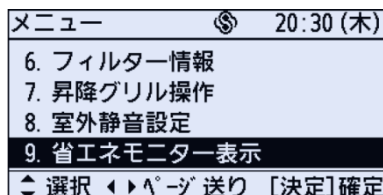
省エネモニターの保存・閲覧

4-6-2 消費電力量の保存

光ID対応リモコン

1日、1週間、1年間それぞれの消費電力量を、簡単に取得することができます。
 ・ここでは1日の消費電力量の取得を説明し、続けて1週間、1年間の取得を説明します。

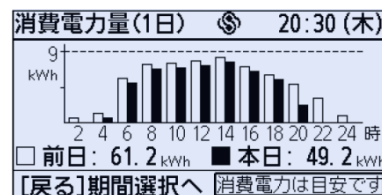
1 リモコンを操作し、省エネモニター画面を表示する



「省エネモニター表示」を選ぶ



表示期間を選び、[決定]を押す



消費電力量(1日)のグラフ画面を表示

● この画面を読み取ります。

2 datanaviアプリを立ち上げてリモコン画面を読み取る



「光ID読み取り」を選ぶ



スマホをリモコン画面にかざして読み取る

3 消費電力量を確認し、保存する



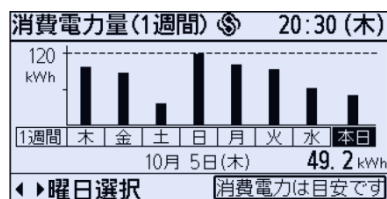
情報を取得したいときは
「保存」を選ぶ

4 タブ（1週間/1年間）を切り換える



- 1週間または1年間の消費電力量を保存する場合は、「1週間」または「1年間」のタブを選んで切り換えます。

5 手順1の操作でリモコンを消費電力量（1週間/1年間）のグラフ画面表示にし、それを手順2～3の操作で消費電力量（1週間/1年間）を保存する

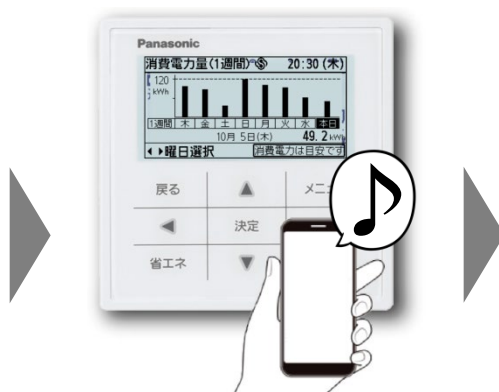


または



リモコンを操作し、消費電力量（1週間/1年間）のグラフ画面を表示する

- この画面を読み取ります。



スマホをリモコン画面にかざして読み取る



- 消費電力量（1週間/1年間）を保存します。

省エネモニターの保存・閲覧

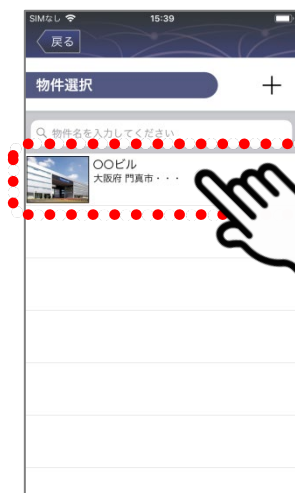
4-6-3 消費電力量の履歴の閲覧

過去に取得・保存した消費電力量の履歴を閲覧することができます。

1 「物件情報」から「省エネモニター」を選ぶ



「物件情報」を選ぶ



物件選択のリストから物件を選ぶ



「省エネモニター」を選ぶ

2 閲覧する機器と日時を選ぶ



機器選択から対象機器の「表示」を選ぶ



閲覧したい日時を選ぶ

3 タブ（1日 / 1週間 / 1年間）を選び、それぞれの情報を閲覧する



試運転データ履歴の閲覧

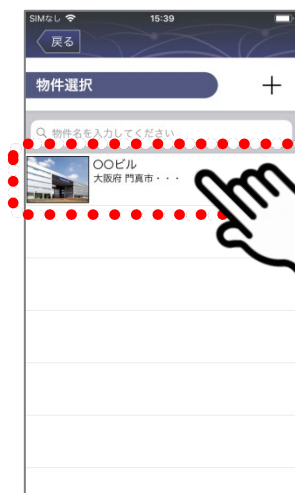
4-7-1 試運転データ履歴の閲覧

過去に取得・保存した試運転データの履歴を閲覧することができます。

1 「物件情報」から「試運転データ」を選ぶ



「物件情報」を選ぶ



物件選択のリストから物件を選ぶ



「試運転データ」を選ぶ

2 閲覧する機器と日時を選ぶ



機器選択から対象機器の「表示」を選ぶ



閲覧したい日時を選ぶ

3 試運転データを閲覧する



● 試運転登録データ（オフィス店舗用）

運転モード、風量、室内吸い込み温度、外気温、室内熱交E1、室外熱交C1、室内熱交E2、室外熱交C2、吐出温度、電流値、圧縮機運転周波数、圧縮機吸い込み温度、室外膨張弁開度

● 試運転登録データ（ビル用マルチエアコン）

運転モード、風量、室内吸い込み温度、外気温、室内熱交E1、室内熱交E3、室内吹き出し温度、高圧センサ、低圧センサ、室内膨張弁開度

■ 「Bluetooth読み取り」から試運転データの履歴を閲覧する場合

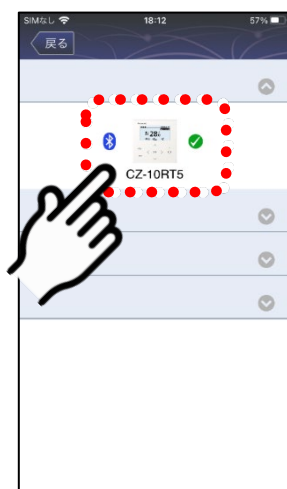
Bluetooth接続した機器を選んで、試運転データの履歴を閲覧することもできます。

1 datanaviアプリからリモコンに接続する



「Bluetooth読み取り」を選ぶ

- 事前にスマートフォンのBluetooth機能をオンに設定してください。



表示されたリモコンを選ぶ

- ペ어링方法について詳しくは『Bluetooth対応リモコンの場合』（P.16）をご確認ください。

2 「試運転データ」を選び、閲覧したい日時を選ぶ



「試運転データ」を選ぶ



閲覧したい日時を選ぶ



- 試運転データを表示を保存します。

センサー情報の取得

4-8-1 センサー情報

光ID対応リモコン

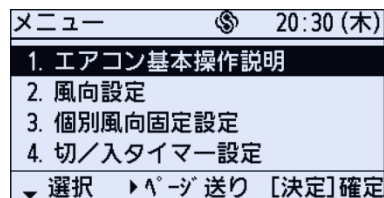
リモコンのセンサー情報表示のデータを取得することができます。

- ・ datanaviアプリを起動後、一度でもリモコンのメニュー画面で光ID読み取りを行ってれば、手順1～手順2を省略できます。

1 リモコンの[メニュー]を操作してメニュー画面を表示する



[メニュー]を押す



- この画面を読み取ります。

2 datanaviアプリを立ち上げてリモコン画面を読み取る

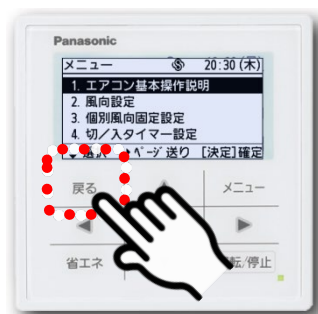


「光ID読み取り」を選ぶ

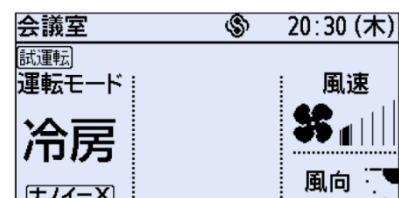


スマホをリモコン画面にかざして読み取る

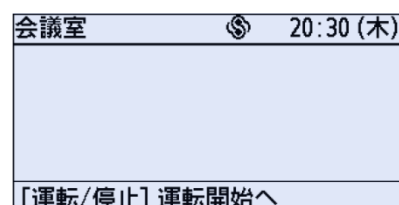
3 「戻る」を選び、リモコンを操作して待ち受け画面を表示させる



[戻る]を押して、待ち受け画面を表示させる



または



[運転/停止] 運転開始へ

4-8-1 センサー情報（つづき）

光ID対応リモコン

4 リモコンを操作し、取得したい項目コードを選ぶ



センサー情報表示 20:30 (木)		
ユニットNo.	項目コード	データ
1-1	00	0026
	01	0027
	02	0026

[▲][▼]を押して取得したい機器番号を選び、[▶]を押す

センサー情報表示 20:30 (木)		
ユニットNo.	項目コード	データ
1-1	00	0026
	01	0027
	02	0026

[▲][▼]を押して項目コードを変更する

- この画面を読み取ります。

メンテナンス機能画面を表示させ、「センサー情報表示」を選び、[決定]を押す

- 詳しくは、リモコンの据付（電気）工事説明書をご確認ください。

5 datanaviアプリを立ち上げてリモコン画面を読み取る



「光ID読み取り」を選ぶ



スマホをリモコン画面にかざして読み取る

6 センサー情報を保存する



「保存」を選ぶ



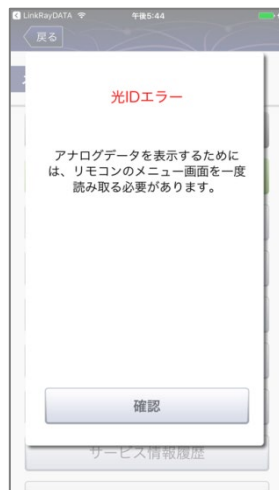
「確認」を選ぶ



- センサー情報を確認してください。

■ エラー画面が表示される場合

以下の画面が表示される場合は、**手順1（P.83）** から再度やりなおしてください。



サービス情報の登録・閲覧

4-9-1 サービス情報の登録

過去に取得・保存した試運転データの履歴を閲覧することができます。

1 「物件情報」から「サービス情報入力」を選ぶ



「物件情報」を選ぶ



物件選択のリストから物件を選ぶ



「サービス情報入力」を選ぶ

2 サービス情報を入力する機器を選ぶ



機器選択から対象機器の「入力」を選ぶ

3 点検日時を入力する



「点検日時」欄を選ぶ



年月日を入力する



時刻を入力する

4 点検内容を入力・保存する

点検内容を入力する

「保存」を選ぶ

5 確認し、「物件選択」画面に戻る

「確認」を選ぶ

● 「物件選択」画面に戻ります。

サービス情報の登録・閲覧

4-9-2 サービス情報履歴の閲覧・削除

過去に取得・保存したサービス情報の履歴を閲覧することができます。

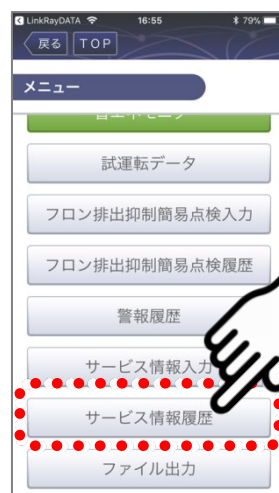
1 「物件情報」から「サービス情報履歴」を選ぶ



「物件情報」を選ぶ



物件選択のリストから物件を選ぶ



「サービス情報履歴」を選ぶ

2 サービス情報履歴を閲覧する機器と日時を選ぶ



機器選択から対象機器の「表示」を選ぶ



閲覧したい日時を選ぶ

3 サービス情報履歴を閲覧する



履歴を削除したいときは「削除」を選びます。
(P.87)

4-9-2 サービス情報履歴の閲覧・削除（つづき）

■ 「削除」を選んだ場合

手順3（P.86）で「削除」を選んだ場合は、以下の手順で履歴を削除します。



「はい」を選ぶ



「確認」を選ぶ



- サービス情報履歴が削除されていることを確認してください。

ファイル出力 4-10-1 ファイル出力

機器リスト、フロン排出抑制簡易点検情報などのデータを指定したメールアドレスに転送することで、パソコンや他の端末でも確認できる機能です。

1 「物件情報」から「ファイル出力」を選ぶ



「物件情報」を選ぶ



物件選択のリストから物件を選ぶ



「ファイル出力」を選ぶ

2 出力先のメールアドレスを入力する



- 出力先メールアドレスを追加・変更することができます。

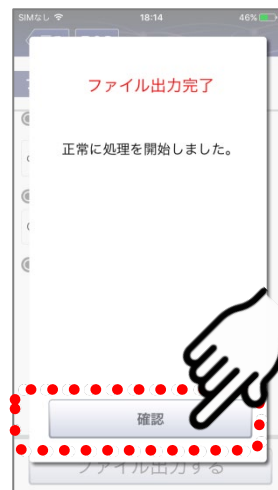
3 出力データを選び、ファイルを出力する



出力データを選択し、「ファイル出力する」を選ぶ

● 出力項目

機器リスト
運転状況履歴情報
消費電力情報
試運転データ履歴情報
冷媒漏えい検知サービス記録
フロン排出抑制簡易点検情報
警報履歴情報
サービス履歴情報



「確認」を選ぶ

QRコード作成・読み取り

4-11-1 QRコードの作成

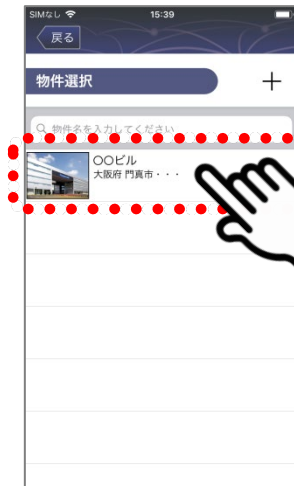
室内外機に紐づくQRコードを作成することができます。

作成したQRコードは、datanaviの「QR読み取り」機能で読み取ると、ユーザーの権限に応じたメニューを表示することができます。

1 「物件情報」から「QR作成」を選ぶ



「物件情報」を選ぶ



物件選択のリストから物件を選ぶ



「QR作成」を選ぶ

2 QRコードを作成する機器を選ぶ



機器選択から対象機器の「作成」を選ぶ

3 QRコードを作成・保存する



「画像で保存」を選ぶ

- 画像の保存先
iOS端末：写真
Android端末：Pictures



「確認」を選ぶ

- 保存したQRコードを印刷して、ノートにリスト化しておくことで、素早く対象機器の情報を読み取ることができます。

QRコード作成・読み取り

4-11-2 QRコードの読み取り

1 「QR読み取り」を選ぶ



2 QRコードを読み取る



スマホをQRコードにかざして読み取る



- 読み取ったQRコードに紐づく物件のメニューから次に操作する機能を選択します。

ユーザー情報変更

4-12-1 ユーザー情報の変更

1 ユーザー情報を変更する



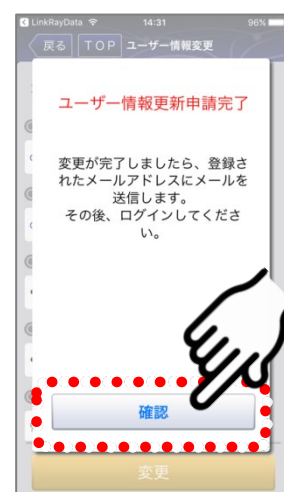
「ユーザー情報変更」
を選ぶ



「ユーザー情報の変更」
を選ぶ



ユーザー情報を変更し、
「変更」を選ぶ



「確認」を選ぶ

- ユーザー情報変更
確認メールが、ロ
グインしているア
カウントのメール
アドレスに送信さ
れます。

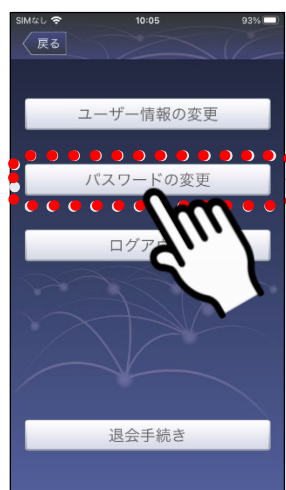
ユーザー情報変更

4-12-2 パスワードの変更

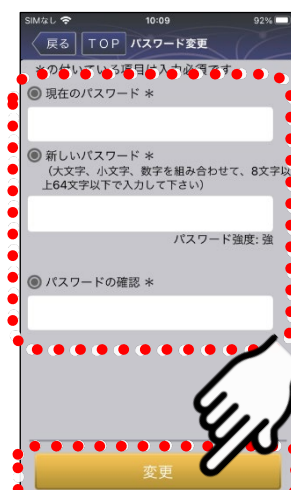
1 パスワードを変更する



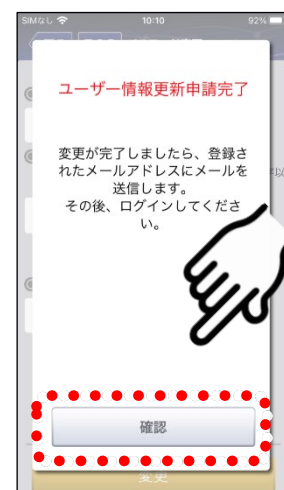
「ユーザー情報変更」
を選ぶ



「パスワードの変更」
を選ぶ



現在のパスワードと、
新しいパスワードを入
力し、「変更」を選ぶ



「確認」を選ぶ

- パスワード変更確
認メールが、ログ
インしているアカ
ウントのメールア
ドレスに送信され
ます。新しいパス
ワードで再度ログ
インしてください。

退会手続き

4-13-1 datanaviから退会する時

datanaviに登録している情報（ユーザー情報および物件情報）が削除されます。

1 退会手続きを行う

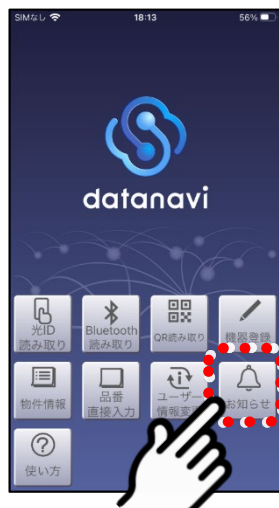


その他

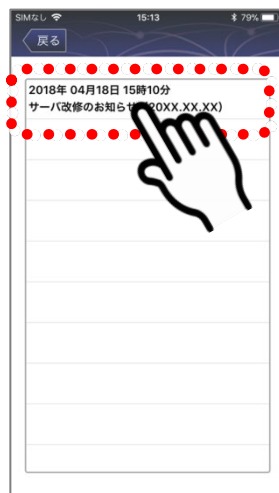
4-14-1 お知らせ

サーバーメンテナンスのお知らせなど、datanaviの使用に関する情報が表示されます。

1 お知らせを確認する

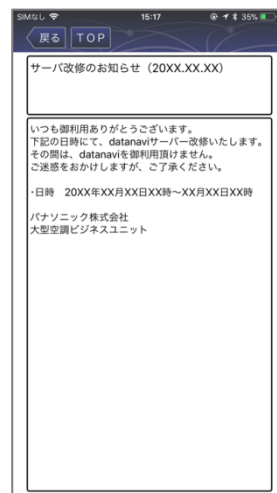


「お知らせ」を選ぶ



お知らせのタイトルを選ぶ

- 未読のお知らせは、太字で表示されます。



- お知らせの内容が表示されます。

その他

4-14-2 使い方

datanaviアプリの操作マニュアルや、Q&A集を閲覧することができます。

1 使い方を確認する



「使い方」を選ぶ



「datanaviの使い方」を選ぶ



- datanaviアプリの操作マニュアルが表示されます。

